

RICOH



RICOH MP W6700_{SP}

使用説明書
〈プリンター〉

目次

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

プロパティ画面を開く	5
印刷設定画面を開く	6
[スタート] から開く	6
アプリケーションから開く	6
各メニューの紹介	7
かんたん設定を使用する	13
ヘルプを表示する	15

2. 印刷する

通常印刷する	17
複数のページを集約して印刷する	19
集約印刷の種類	20
原稿に文字やイメージをスタンプする	21
スタンプの種類	22
1 ページを複数枚に分けて印刷する（拡大連写）	23
拡大連写の種類	24
スプール印刷を設定する	25
分類コードを登録する	26
分類コードを設定する	26
分類コードを入力して印刷する	27
トナーを節約して印刷する	29
トナーセーブ機能を使用する	29
印刷終了後にプリンターのエミュレーションをもとに戻す	30
印刷を中止する	31
印刷開始前のとき	31
印刷中のとき	31
用紙サイズや用紙種類のエラーが表示されたとき	33
印刷範囲	34

3. 便利な機能

部単位で印刷する（ソート）	35
ソートの種類	35
ソートを設定するときの注意	36
印刷した用紙を折る	37

折り機を使用する.....	37
バナーページを印刷する.....	40
4. プリンターの動作を設定する	
プリンタードライバやコマンドの設定で印刷する.....	43
エラージョブの処理方法を設定する.....	45
エラージョブの印刷を自動的にキャンセルする.....	45
エラージョブを自動的に蓄積する.....	46
5. 蓄積文書を印刷する	
ハードディスクに文書を蓄積して印刷する.....	49
試し印刷をする.....	50
機密印刷をする.....	53
保留文書を印刷する.....	56
保存文書を印刷する.....	60
エラーで蓄積された文書を印刷する.....	63
ユーザー ID から印刷する.....	64
保存文書にアクセス権を設定する.....	66
ドキュメントボックスに文書を蓄積して印刷する.....	67
ドキュメントボックスに文書を蓄積する.....	68
ドキュメントボックスに蓄積された文書の管理.....	69
6. 外部メディアを接続して印刷する	
メディアスロットから直接印刷する(メディアプリント).....	71
印刷できるファイル形式.....	71
メディアプリント機能で印刷する.....	72
メディアプリント画面.....	74
7. ファイルを直接印刷する	
Web Printing Tool を使用する.....	77
Web Printing Tool の動作環境.....	78
Web Printing Tool へアクセスする.....	79
Web Printing Tool の基本操作.....	81
コマンドを使用する.....	83
コマンドで PDF ファイルを印刷する.....	83
コマンドでパスワード付き PDF ファイルを印刷する.....	83

8. プリンター初期設定

テスト印刷.....	85
テスト印刷する.....	86
システム設定リストの見かた.....	87
データ操作/管理.....	89
システム設定.....	90
システム設定（EM）.....	96
PS 設定.....	98
PDF 設定.....	101
インターフェース設定.....	103
印字設定.....	104



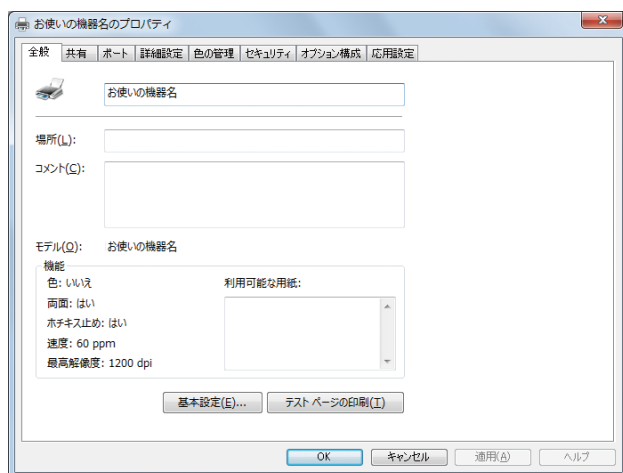
1. プリンタードライバの設定画面を開く

RPCS プリンタードライバの設定画面の開きかたについて、Windows 7 を例に説明します。オプションの PostScript 3 プリンタードライバも設定画面の開きかたは同じです。手順で説明している画面の表示はアプリケーションによって異なることがあります。

1

プロパティ画面を開く

[デバイスとプリンター] ウィンドウから、プリンタードライバのプロパティ画面を表示させる方法を説明します。



★重要

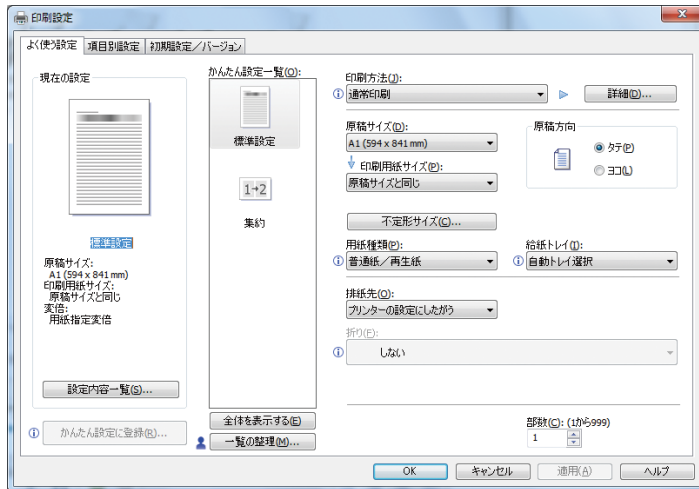
- プリンターのプロパティの内容を変更するには「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。
 - プリンターのプロパティの設定はユーザーごとに変更できません。プリンターのプロパティの設定内容が、このプリンタードライバを使用して印刷するすべてのユーザーの設定です。
1. [スタート] ボタンをクリックし、[デバイスとプリンター] をクリックします。
 2. 初期値を設定するプリンターのアイコンを右クリックします。
 3. [プリンターのプロパティ] をクリックします。

印刷設定画面を開く

1

[スタート] から開く

[デバイスとプリンター] ウィンドウから、プリンタードライバの印刷設定画面を表示させる方法を説明します。



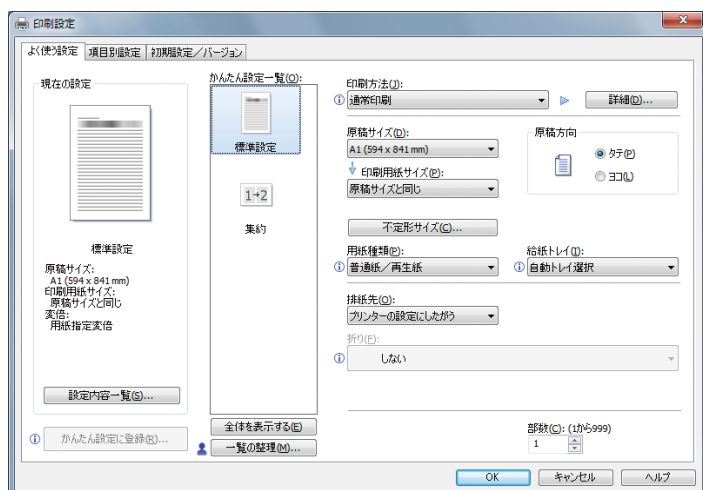
★重要

- プリントサーバーから配布されたドライバーを使用するときは、プリントサーバーで設定された【標準の設定】の内容が初期値として表示されます。
- 印刷設定はユーザーごとに変更できません。印刷設定画面の設定内容が、このプリンタードライバを使用して印刷するすべてのユーザーの初期値です。

1. [スタート] ボタンをクリックし、[デバイスとプリンター] をクリックします。
2. 初期値を設定するプリンターのアイコンを右クリックします。
3. [印刷設定] をクリックします。

アプリケーションから開く

アプリケーションからプリンタードライバの印刷設定画面を表示させる方法を説明します。印刷で使用するアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンタードライバの印刷設定画面をアプリケーションから表示させて設定します。



アプリケーションから印刷設定画面を開くと、[デバイスとプリンター] ウィンドウから表示される印刷設定の内容が初期値として表示されます。アプリケーションから印刷するときは、必要な項目を変更して印刷します。

画面の表示はアプリケーションによって異なることがあります。ここでは Windows 7 に付属の「ワードパッド」を例に説明します。

1. 画面左上のワードパッドメニューボタンをクリックし、[印刷] をクリックします。
2. 「プリンターの選択」から印刷で使用するプリンターを選択します。
3. [詳細設定] をクリックします。

↓ 補足

- 実際の表示の方法はアプリケーションによって異なります。詳細は、アプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。

各メニューの紹介

プリンタードライバの [項目別設定] タブで設定できるメニューについて説明します。各メニューから設定できるその他の項目については、プリンタードライバのヘルプを参照してください。

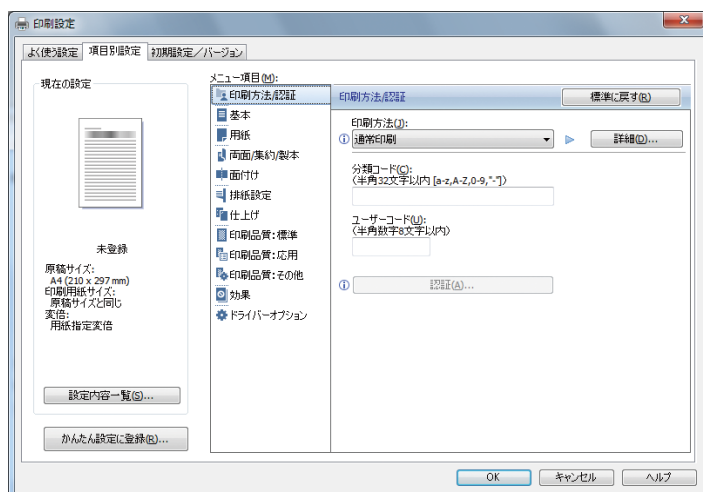
★ 重要

- 設定できる機能は使用するオプションによって異なります。オプションが必要な機能については、『本機のご利用にあたって』『オプションが必要な機能一覧』を参照してください。

印刷方法/認証メニュー

印刷方法や分類コード、認証を設定できます。

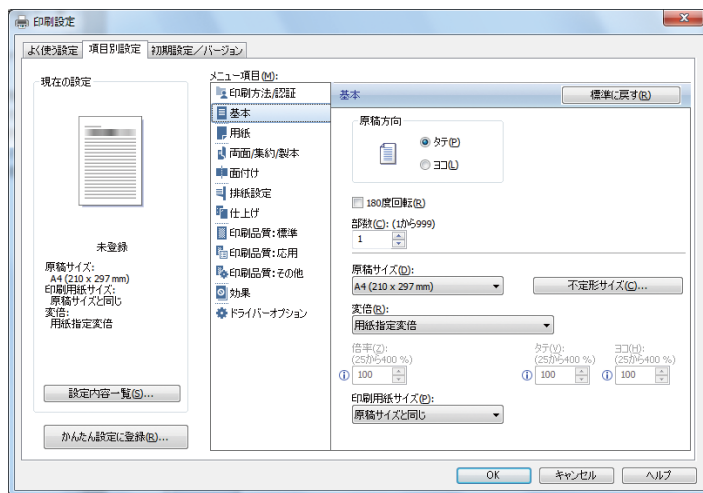
1. プリンタードライバーの設定画面を開く



- 本機のハードディスクにデータを蓄積し、操作部を使用して蓄積したデータを印刷する方法は、P.49「ハードディスクに文書を蓄積して印刷する」を参照してください。
- 本機のドキュメントボックスにデータを蓄積し、操作部を使用して蓄積したデータを印刷する方法は、P.67「ドキュメントボックスに文書を蓄積して印刷する」を参照してください。
- 分類コードの設定については、P.26「分類コードを登録する」を参照してください。

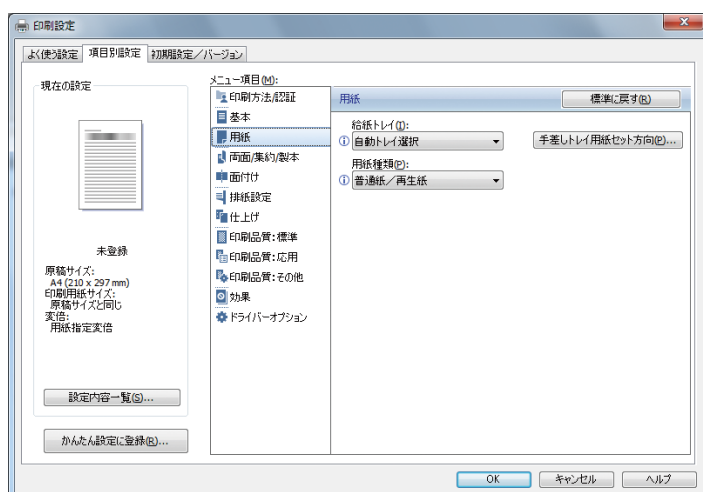
基本メニュー

原稿方向や原稿サイズ、印刷用紙サイズなどを設定できます。



用紙メニュー

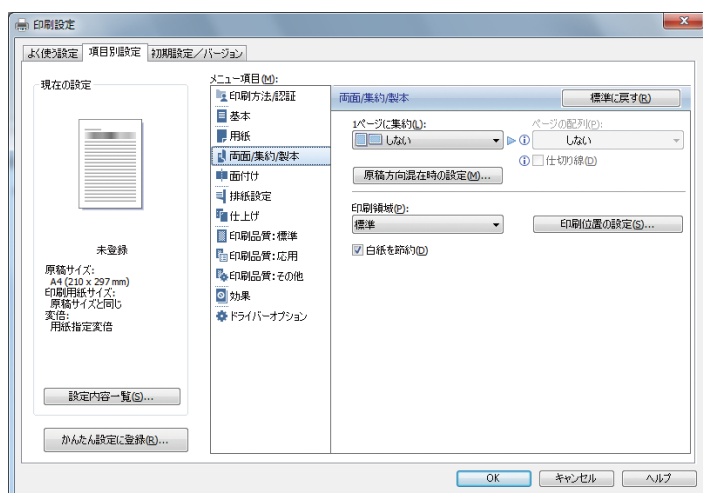
給紙トレイや用紙種類を設定できます。



1

両面/集約/製本メニュー

集約印刷を設定できます。

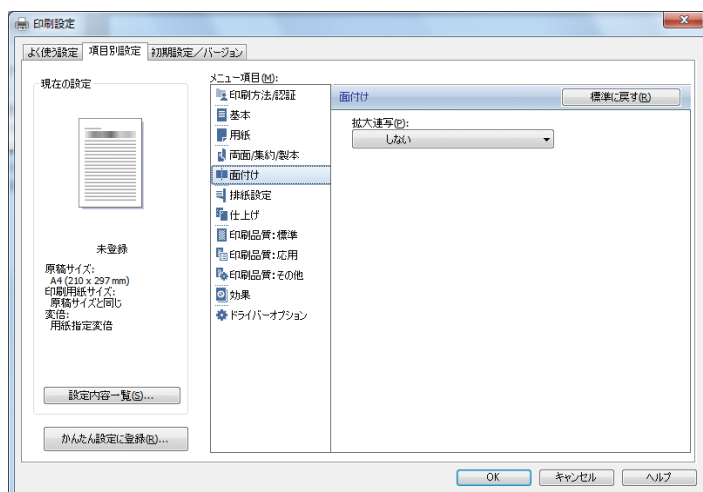


- 集約印刷の設定については、P.19「複数のページを集約して印刷する」を参照してください。

面付けメニュー

拡大連写を設定できます。

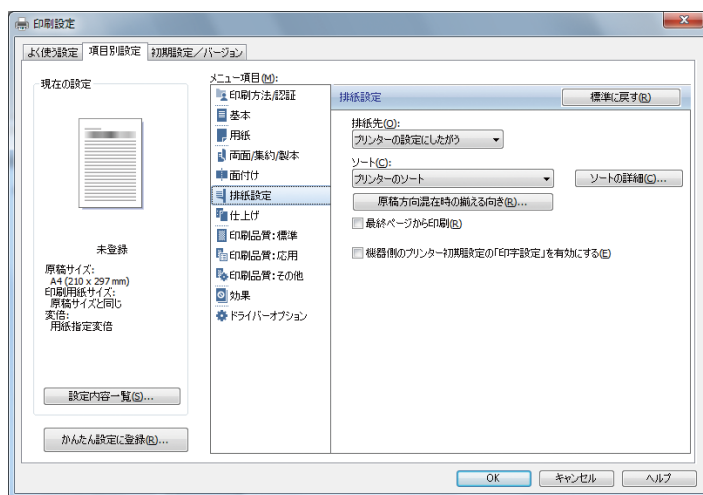
1. プリンタードライバーの設定画面を開く



- 拡大連写については、P.23 「1 ページを複数枚に分けて印刷する（拡大連写）」を参照してください。

排紙設定メニュー

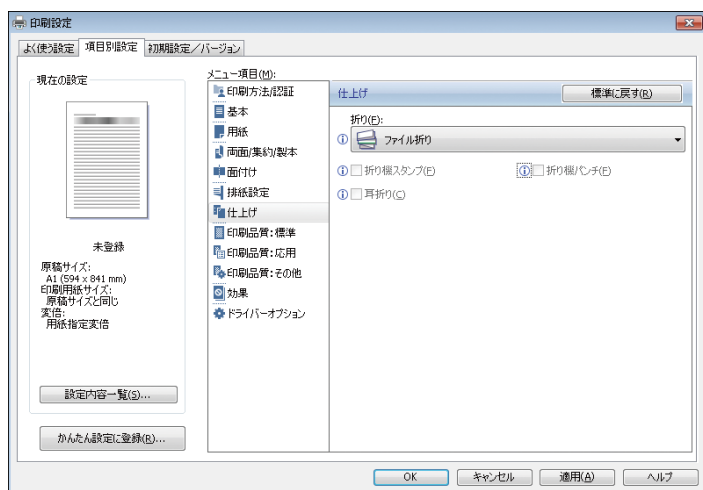
排紙先やソートを設定できます。オプションの PostScript3 プリンタードライバーでは、バナーページも設定できます。



- ソートについては、P.35 「部単位で印刷する（ソート）」を参照してください。
- バナーページについては、P.40 「バナーページを印刷する」を参照してください。

仕上げメニュー

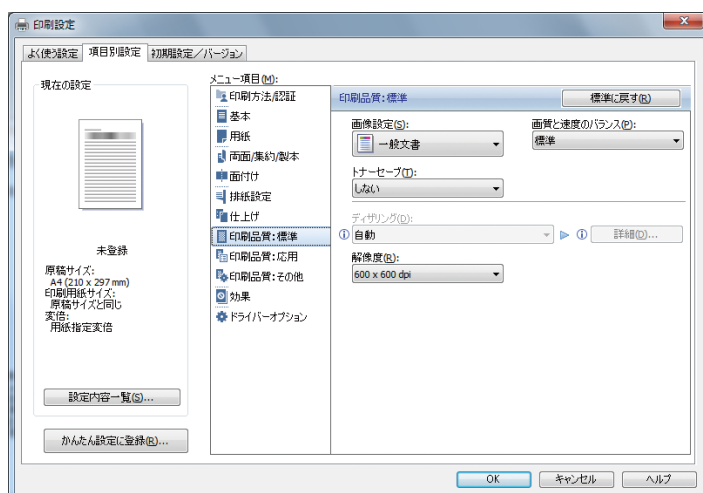
折り機の設定ができます。



- 折りについては、P.37「印刷した用紙を折る」を参照してください。

印刷品質：標準メニュー

トナーセーブや解像度を設定できます。

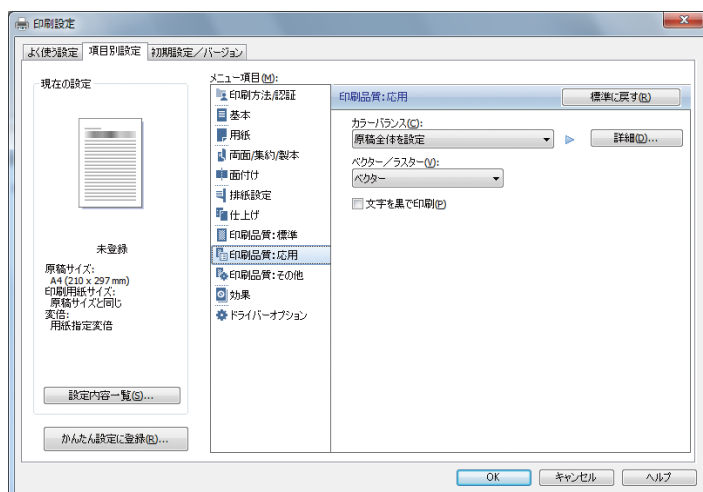


- トナーセーブの設定については、P.29「トナーを節約して印刷する」を参照してください。

印刷品質：応用メニュー

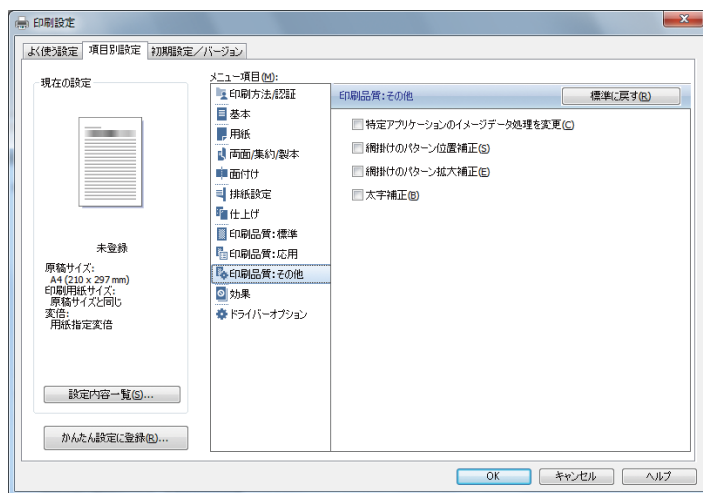
明度とコントラストを調整したり、ドキュメントデータの印刷形式をベクター／ラスターから設定できます。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く



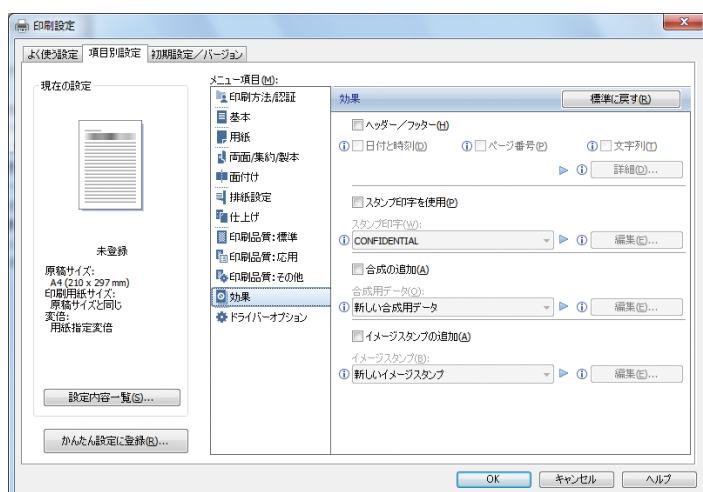
印刷品質：その他メニュー

網掛けのパターンや太字などを調整できます。



効果メニュー

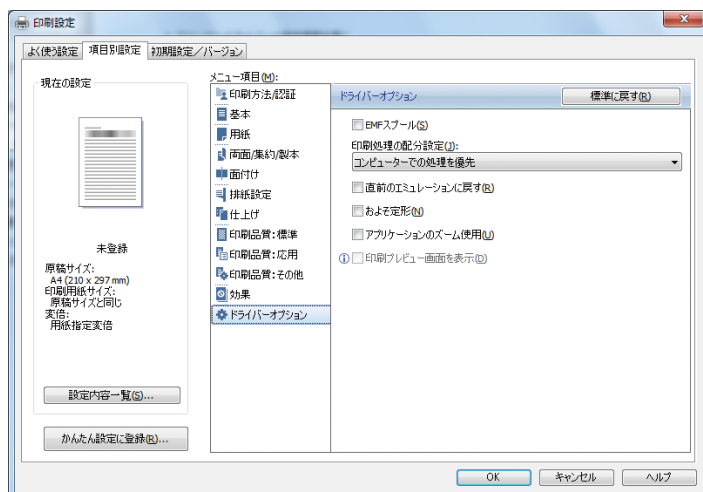
スタンプ印字、イメージスタンプなどを設定できます。



- スタンプ印字とイメージスタンプの設定については、P.21「原稿に文字やイメージをスタンプする」を参照してください。

ドライバーオプションメニュー

印刷の処理方法などを設定できます。

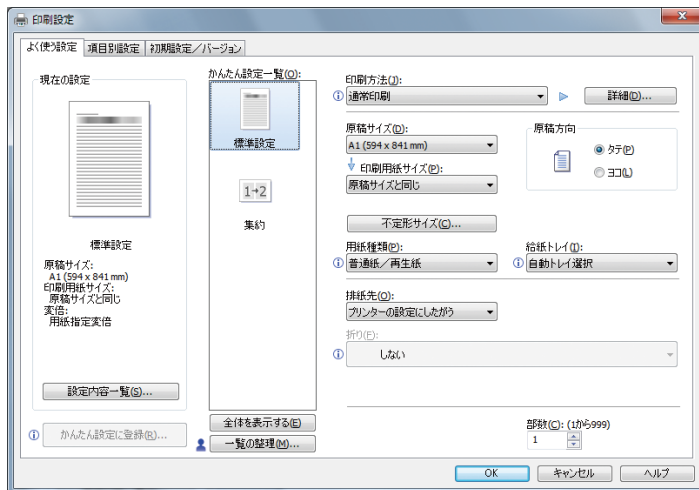


- エミュレーションを併用している環境で RPCS ドライバーから印刷したときに、自動で使用中のエミュレーションに戻す方法は、P.30「印刷終了後にプリンターのエミュレーションをもとに戻す」を参照してください。

かんたん設定を使用する

よく使用する印刷機能の一部は、[よく使う設定] タブの「かんたん設定一覧：」に登録されています。メニューから設定名を選択するだけで、印刷方法を指定できます。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く



「かんたん設定」を使用するには、「かんたん設定一覧：」から、適用する設定名をクリックします。設定名を選択するだけで登録されている設定内容が反映されるため、印刷するときに何箇所も設定を変更したり、誤って設定して無駄な印刷をしたりすることを防止できます。

「かんたん設定」は任意に追加、変更、削除できます。また、複数のメンバーで同じかんたん設定を共有して使用できます。プリンタードライバーに関する特別な知識がなくても、登録した「かんたん設定」を使用するだけで、さまざまな機能を活用できます。

「かんたん設定」を登録するときは、以下の手順で操作してください。

1. 印刷設定画面を開きます。
2. 印刷の設定を必要に応じて指定します。
3. [かんたん設定に登録...] をクリックします。
4. 設定の名前とコメントを入力して [OK] をクリックします。
5. [OK] をクリックします。

↓ 補足

- 「かんたん設定」の変更や削除についてはプリンタードライバーのヘルプを参照してください。

ヘルプを表示する

ヘルプのトピックを表示する

プリンタードライバーの設定画面の［ヘルプ］ボタンをクリックすると、表示しているタブに対応する内容のトピックが表示されます。

プリンタードライバーの設定画面の表示項目についての説明を表示する

プリンタードライバーの設定画面右上に？マークのボタンが表示されているときは、？マークのボタンをクリックすると、ポインターの横に？マークが表示されます。説明を見たい項目をクリックすると、対応する内容のトピックが表示されます。

2. 印刷する

RPCS プリンタードライバーから印刷する方法を Windows 7 に付属の「ワードパッド」を例に説明します。特にことわりのないかぎり、オプションの PostScript 3 プリンタードライバーも操作手順は同じです。手順で説明している画面の表示はアプリケーションによって異なることがあります。

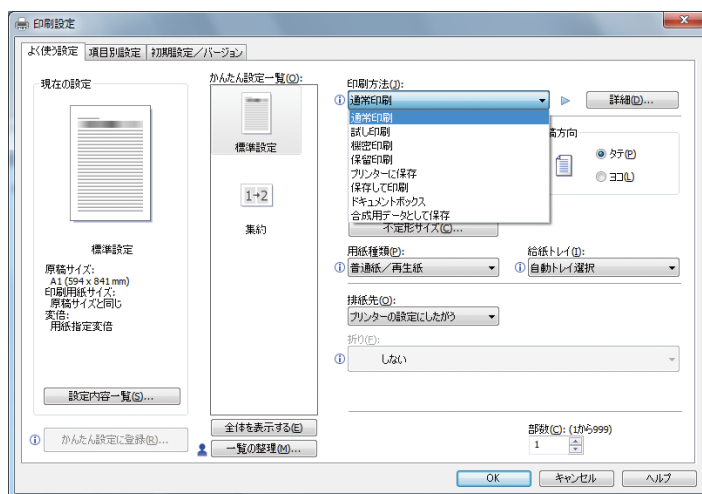
印刷した文書を放置すると、第三者に見られたり持ち去られたりすることがあります。印刷が終了したら、文書をすぐに回収してください。

2

通常印刷する

★重要

- 本機がスリープモードまたは低電力モードのときに USB 2.0 経由で印刷すると、印刷できていても、印刷失敗のメッセージがパソコンに表示されることがあります。正しく印刷されているかどうかを確認してください。
1. 画面左上のワードパッドメニューボタンをクリックし、[印刷] をクリックします。
 2. 「プリンターの選択」から印刷で使用するプリンターを選択します。
 3. [詳細設定] をクリックします。
 4. [よく使う設定] タブをクリックします。
 5. 「印刷方法：」プルダウンメニューから[通常印刷]を選択します。



6. 「原稿サイズ：」プルダウンメニューから印刷する文書のサイズを選択します。
7. 「原稿方向」から文書の印刷方向を選択します。

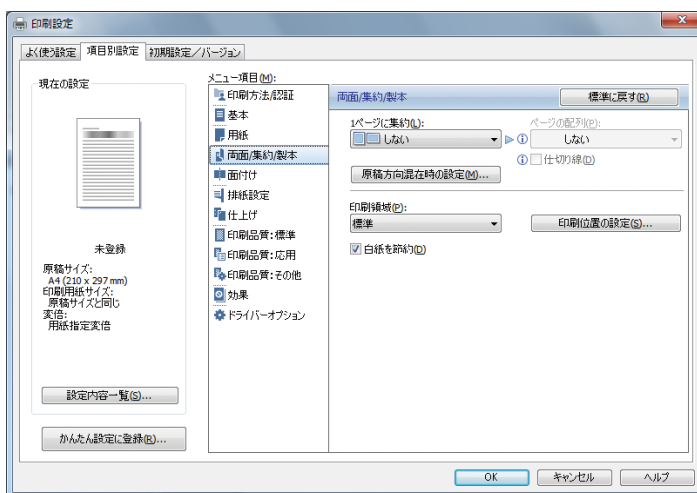
8. 「用紙種類：」プルダウンメニューから給紙トレイにセットされている用紙種類を選択します。
9. 「給紙トレイ：」プルダウンメニューから用紙がセットされている給紙トレイを選択します。
[自動トレイ選択] を選択したときは、用紙サイズと用紙種類に応じて給紙トレイが自動的に選択されます。
10. 複数の部数を印刷するときは、「部数：」ボックスに部数を入力します。
11. [OK] をクリックします。
12. アプリケーションから印刷の指示をします。

複数のページを集約して印刷する

プリンタドライバで集約印刷する方法を説明します。集約を設定すると、複数のページを縮小して1ページにまとめて印刷できます。

1. 画面左上のワードパッドメニューボタンをクリックし、[印刷] をクリックします。
2. 「プリンターの選択」 から印刷で使用するプリンターを選択します。
3. [詳細設定] をクリックします。
4. [項目別設定] タブをクリックします。
5. 「メニュー項目：」で[両面/集約/製本]メニューをクリックします。

2



6. 「1 ページに集約：」プルダウンメニューから集約の種類を選択し、「ページの配列：」プルダウンメニューからページの並べかたを選択します。

仕切り線が必要なときは、[仕切り線] チェックボックスにチェックを入れてください。

原稿の方向が混在するときは、[原稿方向混在時の設定...] をクリックし、「印刷結果：」プルダウンメニューから処理のしかたを選択します。

7. その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。
8. [OK] をクリックします。
9. アプリケーションから印刷の指示をします。

↓ 補足

- 1 つの文書内に原稿方向の異なるページがあるときは、そのページの前で改ページします。

- 同じ機能を設定できるアプリケーションから印刷するときは、アプリケーション側では機能を設定しないでください。アプリケーション側の設定を有効にして印刷すると、意図しない印刷結果になることがあります。

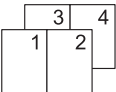
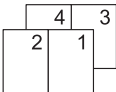
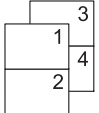
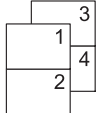
集約印刷の種類

2

集約印刷で1ページにまとめることができるのは、2ページ、4ページ、9ページ、16ページです。4ページ以上を1ページにまとめるときは、4つのパターンからページの並べかたを選択できます。

ここでは2ページを1ページにまとめるときと、4ページを1ページにまとめるときを例に説明します。

2ページを1ページに集約

原稿方向	左から右／上から下	右から左／上から下
タテ		
ヨコ		

4ページを1ページに集約

左上→右上→左下→右下	左上→左下→右上→右下	右上→左上→右下→左下	右上→右下→左上→左下
			

↓ 補足

- オプションの PostScript 3 プリンタードライバでは6ページを1ページにまとめることもできます。

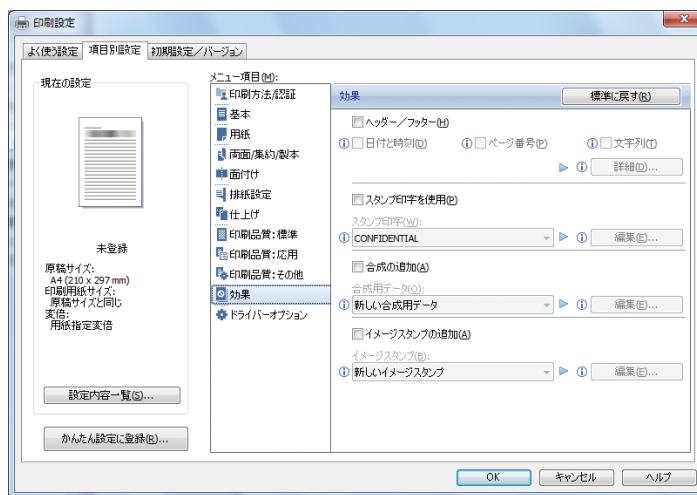
原稿に文字やイメージをスタンプする

プリンタードライバでスタンプを設定すると、作成した文書に文字やイメージデータを重ねて印刷できます。

スタンプには、文字データを使用する「スタンプ印字」と、ビットマップファイル (.bmp) を使用する「イメージスタンプ」があります。スタンプ印字とイメージスタンプは同時に指定できません。イメージスタンプは RPCS プリンタードライバで使用できます。

2

1. 画面左上のワードパッドメニューボタンをクリックし、[印刷] をクリックします。
2. 「プリンターの選択」 から印刷で使用するプリンターを選択します。
3. [詳細設定] をクリックします。
4. [項目別設定] タブをクリックします。
5. 「メニュー項目：」で [効果] メニューをクリックします。



6. スタンプ印字またはイメージスタンプを設定します。

スタンプ印字を設定するときは、[スタンプ印字を使用] チェックボックスにチェックを入れ、「スタンプ印字：」プルダウンメニューから使用するスタンプ印字を選択します。

イメージスタンプを設定するときは、[イメージスタンプの追加] チェックボックスにチェックを入れ、「イメージスタンプ：」プルダウンメニューから使用するイメージスタンプを選択します。

7. その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。
8. [OK] をクリックします。
9. アプリケーションから印刷の指示をします。

↓ 補足

- スタンプ印字は編集したり、新しく作成したりできます。詳細はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。
- イメージスタンプを設定するときは、印刷するイメージデータが必要です。詳細はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。

スタンプの種類

プリンタードライバーにはいくつかのスタンプ印字があらかじめ登録されています。使用できるスタンプ印字の種類は次のとおりです。

CONFIDENTIAL	マル秘	DRAFT	社外秘	COPY
				

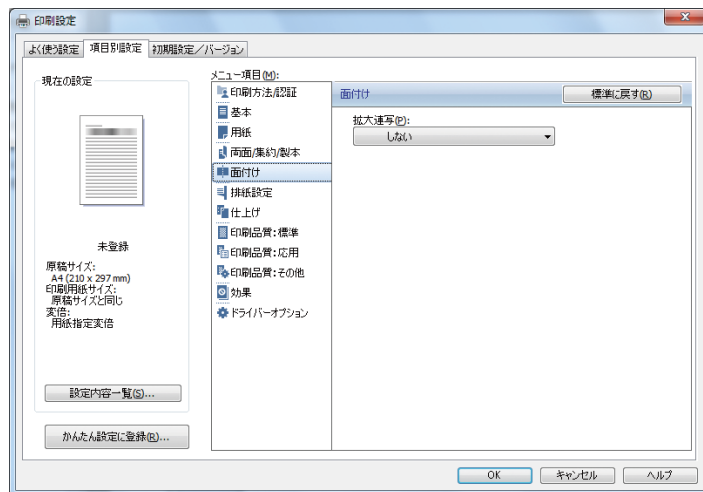
1 ページを複数枚に分けて印刷する（拡大連写）

1 ページを複数枚の用紙に分けて拡大印刷し、それらを貼り合わせることで、ポスターのような大判の印刷物を作成できます。用紙の端から 15 mm の部分がのりしろとして印刷されます。印刷された用紙を貼り合わせるときは、端から 15 mm を重ねると、継ぎ目が目立たなくなります。

この機能は RPCS プリンタードライバで使用できます。

★重要

- 拡大率は、指定した用紙のサイズと分割枚数に応じて決まります。
1. 画面左上のワードパッドメニューボタンをクリックし、[印刷] をクリックします。
 2. 「プリンターの選択」から印刷で使用するプリンターを選択します。
 3. [詳細設定] をクリックします。
 4. [項目別設定] タブをクリックします。
 5. 「メニュー項目：」で [面付け] メニューをクリックします。



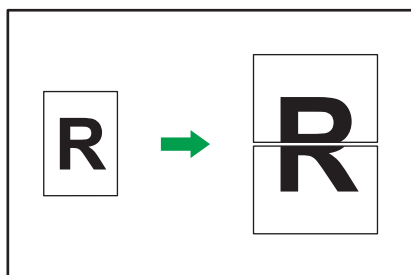
6. 「拡大連写：」プルダウンメニューから用紙の分けかたを選択します。
7. その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。
8. [OK] をクリックします。
9. アプリケーションから印刷の指示をします。

拡大連写の種類

拡大連写で設定できる用紙の分けかたは以下のとおりです。ここでは原稿の向きが□のときを例に説明します。

- 2 枚に分けて印刷

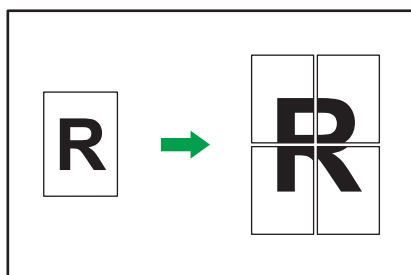
上下 2 枚に分割します。



CKN103

- 4 枚に分けて印刷

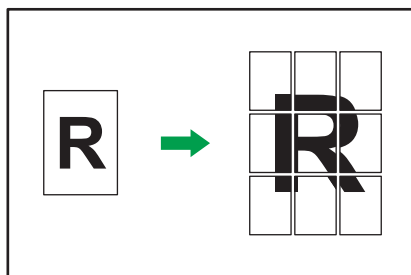
縦 2 枚、横 2 枚に分割します。



CKN104

- 9 枚に分けて印刷

縦 3 枚、横 3 枚に分割します。



CKN105

↓ 補足

- 拡大連写と折りは、同時に設定できません。
- 拡大連写で印刷するとき、画像によっては用紙の裏汚れなどの不具合が発生することがあります。

スプール印刷を設定する

スプール印刷とは、パソコンから転送される印刷ジョブを一時的に本機に蓄積して印刷する機能です。スプール印刷をすると、大容量のデータのと看、パソコンが早く印刷処理から開放されます。

★重要

- スプール印刷中は本機のハードディスクにアクセスするので、データインランプが点滅します。スプール印刷中に本機やパソコンの電源を切ると、ハードディスクが破損することがあります。スプール印刷中は本機やパソコンの電源を切らないでください。
- diprint、LPR、IPP、ftp、sftp、SMB (TCP/IP (IPv4))、WSD (Printer) のプロトコルで受信したデータだけスプール印刷できます。

スプール印刷は Web Image Monitor、または telnet で設定できます。Web Image Monitor については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「Web ブラウザーを使用する」、または Web Image Monitor のヘルプを参照してください。telnet については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「telnet を使用する」を参照してください。

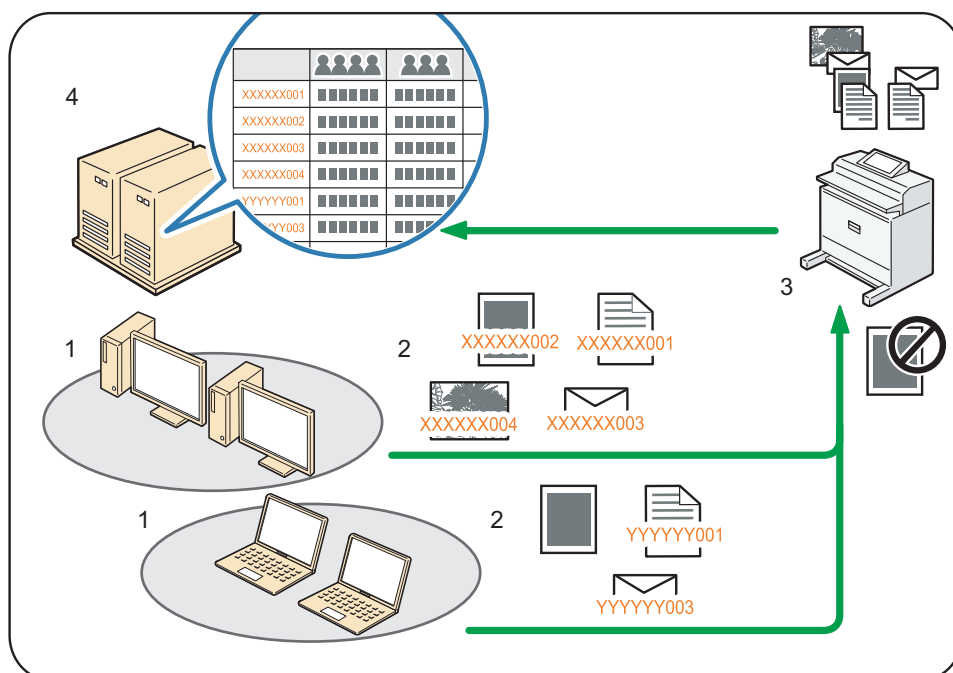
スプール印刷が設定されているときは、スプール中のジョブ一覧を本機の操作部の画面に表示できます。操作部左上の〔ホーム〕キーを押して、ホーム画面の〔プリンター〕アイコンを押してから〔ジョブスプール一覧〕を押します。スプールされているジョブの一覧が表示されます。

スプール中のジョブを削除するときは、削除する文書を押し、〔消去〕を押します。

分類コードを登録する

分類コードを登録しておくことで、分類コードごとの印刷枚数が本機に記録されます。

この機能を使用して、たとえば使用目的や個人ごとに分類コードを設定しておくことで、印刷枚数を使用目的や個人ごとに確認できます。勘定科目ごとの収集やクライアントごとの課金管理などに適しています。



CQF012

1. 管理する部や課、プロジェクトチーム、ユーザーなど

2. 使用目的に応じて、分類コードをプリントジョブに入力します。

詳細は、P.27「分類コードを入力して印刷する」を参照してください。

3. 印刷します。

印刷時に分類コードの入力を必須とするか任意とするかを、Web Image Monitor で設定します。

詳細は、P.26「分類コードを設定する」を参照してください。

4. 外部ログ管理システムで分類コードを収集し、管理します。

分類コードを設定する

プリントジョブに分類コードを必須とするか任意とするかを、Web Image Monitor で設定します。

★重要

- 分類コードを〔必須〕に設定したとき、分類コードが付与されていないプリントジョブは印刷できません。
- 分類コードを〔必須〕に設定したときでも、システム設定リストは印刷できます。
- 初期状態は〔任意〕に設定されています。

1. Web Image Monitor に管理者モードでログインします。

ログイン方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「Web ブラウザーを使用する」を参照してください。

2. メニューエリアの〔機器の管理〕から〔設定〕をクリックします。**3. 「機器」カテゴリーの中の〔ログ〕をクリックします。****4. 「共通設定」カテゴリーの中の「分類コード」の〔必須〕か〔任意〕をクリックします。****5. [OK] をクリックします。****6. [ログアウト] をクリックします。****7. Web Image Monitor を終了します。**

2

分類コードを入力して印刷する

分類コードが必須の環境で印刷するときは、プリントジョブに分類コードを指定して印刷します。

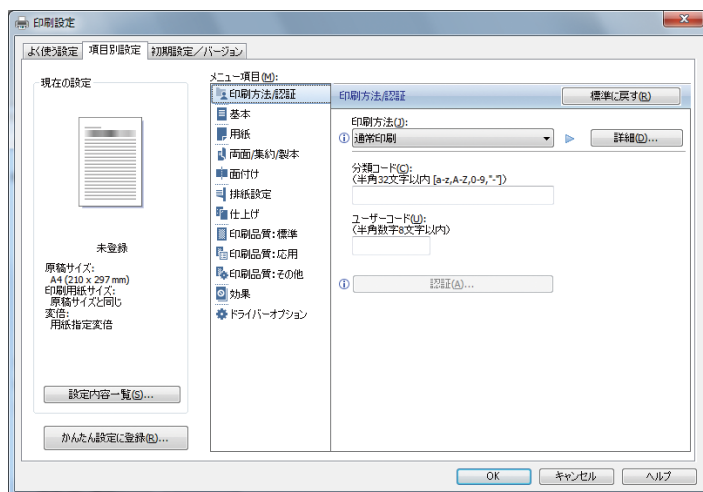
この機能は RPCS プリンタードライバで使用できます。

★重要

- 入力した分類コードはプリンタードライバに保存されます。
- 複数の分類コードを切り替えたいときは、プリンタードライバを別の名前で複数インストールし、それぞれに個別の分類コードを設定します。

1. 画面左上のワードパッドメニューボタンをクリックし、〔印刷〕をクリックします。**2. 「プリンターの選択」から印刷で使用するプリンターを選択します。****3. [詳細設定] をクリックします。****4. [項目別設定] タブをクリックします。**

5. 「メニュー項目：」で【印刷方法/認証】メニューをクリックします。



6. 「分類コード：」ボックスに分類コードを入力します。

7. その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。

8. [OK] をクリックします。

9. アプリケーションから印刷の指示をします。

↓ 補足

- 「印刷方法：」プルダウンメニューで【ドキュメントボックス】を選択したときは、分類コードを入力できません。

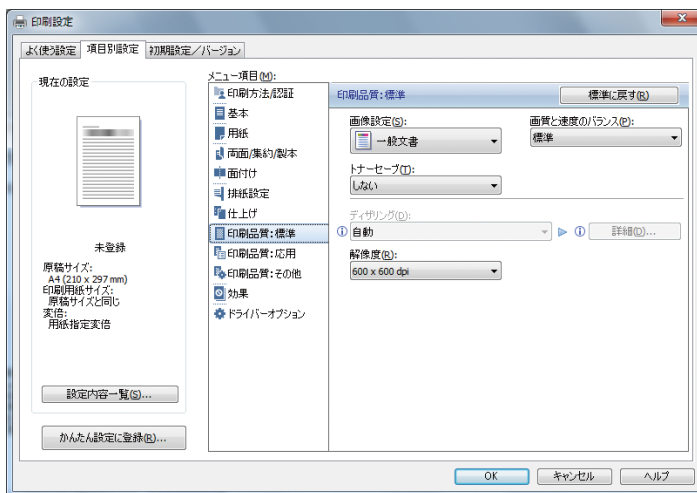
トナーを節約して印刷する

トナーセーブ機能を使用する

トナーセーブ機能を使用すると、通常よりも薄い色で印刷されるため、トナーを節約できます。

2

1. 画面左上のワードパッドメニューボタンをクリックし、[印刷] をクリックします。
2. 「プリンターの選択」 から印刷で使用するプリンターを選択します。
3. [詳細設定] をクリックします。
4. [項目別設定] タブをクリックします。
5. 「メニュー項目：」で [印刷品質：標準] メニューをクリックします。



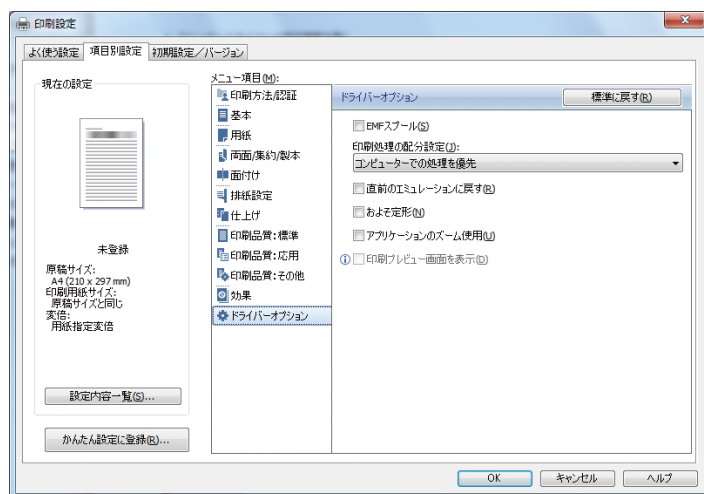
6. 「トナーセーブ：」プルダウンメニューから [する] を選択します。
7. その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。
8. [OK] をクリックします。
9. アプリケーションから印刷の指示を出します。

印刷終了後にプリンターのエミュレーションをもとに戻す

エミュレーションを併用している環境で、プリンタードライバーから印刷ジョブを送信したときに、自動で直前に使用していたエミュレーションに戻す機能です。

この機能は RPCS プリンタードライバーで使用できます。

1. 画面左上のワードパッドメニューボタンをクリックし、[印刷] をクリックします。
2. 「プリンターの選択」 から印刷で使用するプリンターを選択します。
3. [詳細設定] をクリックします。
4. [項目別設定] タブをクリックします。
5. 「メニュー項目：」で [ドライバーオプション] メニューをクリックします。



6. [直前のエミュレーションに戻す] チェックボックスにチェックを入れます。
7. [OK] をクリックします。
8. アプリケーションから印刷の指示をします。

印刷を中止する

本機とパソコンから印刷を中止します。中止する方法は印刷データの状態によって異なります。状況を確認し、以下の手順で操作します。

1. 印刷を中止するデータが、本機から印刷されているか確認します。

データが印刷されていなくてもデータインランプが点滅・点灯していれば、本機はデータを受信しています。

2. 印刷を中止します。

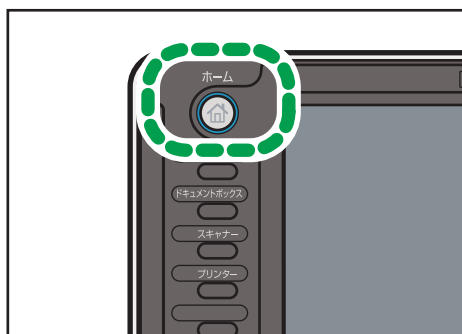
データの印刷状況によって、次のいずれかの手順で操作します。

印刷開始前のとき

1. Windows のタスクトレイのプリンターアイコンをダブルクリックします。
2. 印刷を中止する文書のドキュメント名をクリックして反転表示させます。
3. [ドキュメント] メニューの [キャンセル] をクリックします。

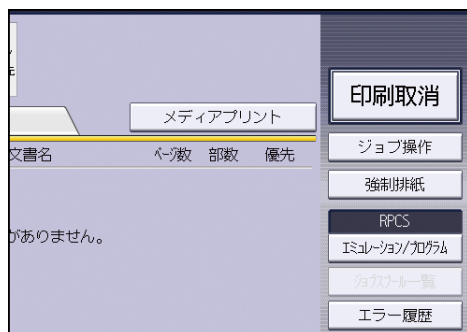
印刷中のとき

1. 操作部左上の [ホーム] キーを押して、ホーム画面の [プリンター] アイコンを押します。



DHJ259

2. [印刷取消] または [ストップ] キーを押します。



3. 印刷中のジョブを消去するときは [印刷中止]、本機に送信したすべてのジョブを消去するときは [全ジョブ取消] を押します。

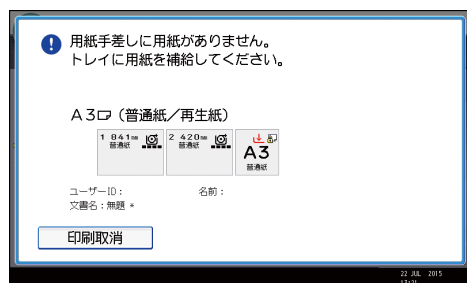
4. [消去する] を押します。

↓ 補足

- 印刷を中止したデータが途中から再び印刷されるときは、[プリンター初期設定] の [インターフェース設定] の [インターフェース切替時間] を長くしてください。
- 大容量データの印刷を中止するときは、[印刷取消] または [ストップ] キーを押したあと、パソコン側からも印刷を中止することをお勧めします。

用紙サイズや用紙種類のエラーが表示されたとき

印刷時に指定した用紙サイズ、用紙種類に一致するトレイがないときや、本機にセットした用紙がなくなったときは、本機の操作部に警告画面が表示されます。表示された内容にしたがって、印刷を中止し、用紙設定を確認してから、再度印刷してください。



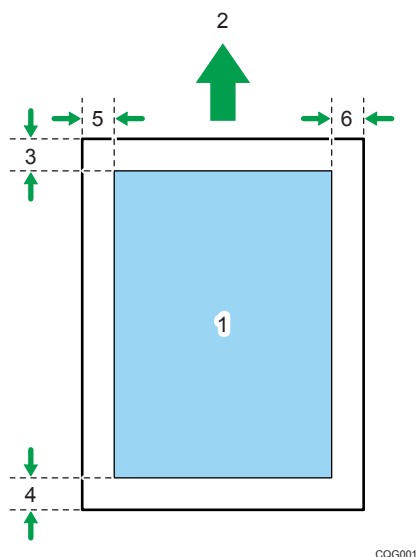
1. [印刷取消] を押します。
2. 印刷中のジョブを消去するときは [印刷中止]、本機に送信したすべてのジョブを消去するときは [全ジョブ取消] を押します。
3. [消去する] を押します。

↓ 補足

- 印刷を中止したデータが途中から再び印刷されるときは、[プリンター初期設定] の [インターフェース設定] の [インターフェース切替時間] を長くしてください。
- 大容量データの印刷を中止するときは、[印刷取消] を押したあと、パソコン側からも印刷を中止することをお勧めします。

印刷範囲

本機の推奨印刷範囲は以下の図のとおりです。



1. 印刷範囲
2. 給紙方向
3. 約 2.0mm
4. 約 2.0mm
5. 約 2.0mm
6. 約 2.0mm

↓ 補足

- 印刷範囲は、用紙サイズやプリンタードライバーの設定によって異なることがあります。
- プリンタードライバーや印刷条件の設定によっては推奨印刷範囲外に印刷できますが、思い通りの印刷結果が得られない、または用紙が正しく送られないことがあります。
- 縁なし印刷には対応していません。

3. 便利な機能

折り、ソート、バナーページの印刷などの、便利な印刷機能について説明します。

設定できる機能は使用するオプションによって異なることがあります。オプションが必要な機能については、『本機のご利用にあたって』「オプションが必要な機能一覧」を参照してください。

部単位で印刷する（ソート）

会議資料など複数部数の文書を印刷するとき、ページ順に仕分けして印刷できます。パソコンから送信されてきたデータをメモリーに読み込み、ソートします。

ソートは［項目別設定］タブの［排紙設定］メニューで設定できます。印刷方法は、プリンタードライバのヘルプを参照してください。

★重要

- 最大 1,000 ページまでの文書を 999 部までソートできます。

ソートの種類

- ソート

1 部ずつそろえて印刷します。

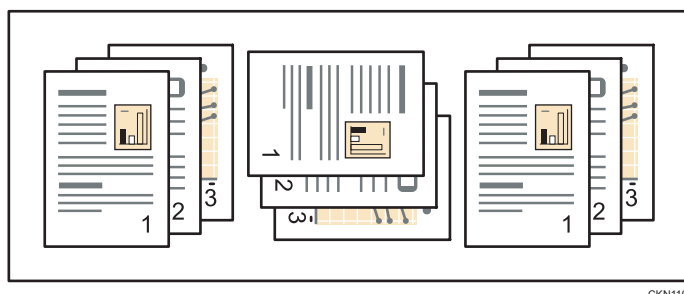


CKN0109

- 回転ソート

1 部ずつ□□交互に向きを変えて印刷します。

同じ用紙サイズで、同じ用紙種の用紙を異なる方向（□□）にセットした 2 段の給紙トレイが必要です。



CKN110

3

ソートを設定するときの注意

ソートが解除される条件について説明します。

回転ソートが解除される時

以下の条件で回転ソートが解除されます。

- 折りが指定されたとき
- 用紙サイズが混在しているとき
- 給紙トレイが指定されたとき
- 不定形サイズが指定されたとき
- 排紙先にシフト機能があるとき

↓ 補足

- 「ソート：」プルダウンメニューの横に注意アイコン (i) が表示されているときは、ソートを設定できません。注意アイコン (i) をクリックし、設定できない原因を確認してください。
- プリンタードライバーでソートまたは回転の設定をするときに、[アプリケーションのソート] を指定していると、意図しない印刷結果になることがあります。[プリンターのソート] を指定して印刷してください。
- ソートできる用紙のサイズと枚数については、『保守/仕様』『仕様一覧』を参照してください。

印刷した用紙を折る

折り機を本機に取り付けることにより、印刷した用紙を自動的に折ることができます。ここでは、折り機を使用する際の注意事項を記載しています。ご使用になる前に必ずお読みください。

折りは「項目別設定」タブの「仕上げ」メニューで設定できます。印刷方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

★重要

- この機能を使用するために必要なオプションについては、『本機のご利用にあたって』「オプションが必要な機能一覧」を参照してください。

3

折り機を使用する

折り機を本機に取り付けることにより、印刷した用紙を自動的に折ることができます。ここでは、折り機を使用する際の注意事項を記載しています。ご使用になる前に必ずお読みください。

★重要

- 本機とパソコンが双方向通信していないときは、必ずプリンタードライバーでオプションの設定をしてください。
- 手差しトレイから給紙されるときは、折り機の機能は使用できません。

折り機との接続

折り機との接続が以下のような状態・設定のときは折り機を使用できません。正しく設定されているか確認してください。

- 折り機がオフライン状態になっている。
- 給紙トレイに「手差しトレイ」が設定されている。
- プリンタードライバーで給紙トレイに「自動トレイ選択」が設定されている。
(RP-GL/GL2を除く)
- 用紙サイズ、セット方向が正しく設定されていない。
- 用紙の種類にトレーシングペーパー、フィルムが設定されている。

★重要

- ご使用になるアプリケーションによっては印刷時の設定が有効にならず、意図しない印刷結果になることがあります。
- プリンタードライバーでソート（部単位印刷）の設定をするときは、アプリケーションの部単位印刷設定が無効になっていることを確認してください。アプリケーションの部単位印刷を有効にして印刷をすると、意図しない印刷結果になることがあります。

- 紙づまりの位置によって、エラー対処後の印刷再開動作は異なります。
- 折り機で紙づまりが発生したとき：紙づまりの位置によって、印刷中のデータの先頭ページまたは紙づまりが発生したページから印刷を再開します。
- 本機側で紙づまりが発生したとき：印刷中のデータの紙づまりが発生したページから印刷を再開します。
- 本機側で紙づまりが発生したときでも、折り機のカバーの開閉を行わないとエラーが解除されないことがあります。
- 紙づまりしたときは、『こまったときには』『用紙や原稿がつまったとき』を参照してください。

折りの種類

折りの種類について説明します。折り機で選択できる折りの種類は次のとおりです。

長尺折り

長尺基本折り

用紙の搬送方向に対して水平に、山折り、谷折りを交互に繰り返す折り方です。折り幅を、140、170、210、297 mm から設定できます。

長尺ファイル折り

ファイルに綴じるための綴じ代をつけて長尺折りをします。綴じ代の範囲は折り機で設定することができます。仕上がり幅は 210mm です。

長尺特殊折り

あらかじめ使用頻度が高い特殊な長尺折りが2つセットされています。

定形折り

基本折り

用紙の搬送方向に対して水平に、山折り、谷折りを交互に繰り返してから、垂直に折りたたみます。仕上がりサイズは A4 になります。

ファイル折り

ファイルに綴じるための綴じ代余白をつけて折りたたみます。仕上がりサイズは A4 になります。

図面袋折り

綴じ穴のある袋の大きさに入るように折りたたみます。仕上がりサイズは 297mm × 170mm になります。

折り無し（ストレート排紙）

用紙を折らずに折り機の排紙トレイから排紙されます。

★ 重要

- 用紙折りの内容について詳しくは、折り機の『使用説明書』を参照してください。

折りを設定するときの注意

折ることができる用紙サイズと、折るときの注意事項について説明します。

折り種類と用紙サイズ

折りの種類	用紙サイズ
長尺折り	幅 210～914.4mm、長さ 320mm～折り幅×30 面相当
定形折り	A0□、A1□□、A2□□、A3□□
折り無し	定形サイズ： 本機に対応するすべての用紙サイズで排紙可能 不定形サイズ： 幅 210～914.4mm、長さ 210～15,000mm

3

折りが解除される時

- 給紙先が手差しトレイのとき
- 用紙サイズ、セット方向が正しく設定されていないとき
- 用紙折りができない紙種が選択されたとき
- 長尺折りの用紙の長さが 319mm 以下に設定されているとき

↓ 補足

- 折り機を接続しているのに折り方を設定できないときは、プリンタードライバーでオプション機器が正しく設定されていない可能性があります。[オプション構成] でオプション機器を正しく設定してください。プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
- コピー機能など他の機能で折り機が使用されているときは、その機能での作業が終了してから印刷が開始されます。
- ご使用になるアプリケーションによっては印刷時の設定が有効にならず、意図しない印刷結果になることがあります。

バナーページを印刷する

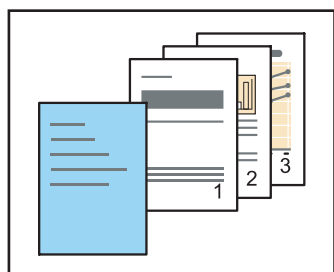
プリンタドライバで指定した給紙トレイからバナーページを印刷します。バナーページを印刷ジョブの前に挿入し、文書の取り違いを防止します。

バナーページにはユーザー名、ジョブ名、ホスト名、ジョブの印刷日時が印刷されます。

この機能はオプションの PostScript 3 プリンタドライバで使用できます。

バナーページは [項目別設定] タブの [排紙設定] メニューで設定できます。印刷方法は、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

3



CLD004

バナーページの注意

- プリンタドライバの「印刷方法：」で [通常印刷] を指定したときだけ有効です。
- バナーページに印刷されるジョブの印刷日時は、ジョブ履歴の日時と差異が発生することがあります。また、エラーなどで印刷が中止され、再開までに時間が空いたときも、バナーページに印刷される印刷日時と実際の印刷日時に差異が発生することがあります。
- 印刷を中止するときは、バナーページと印刷ジョブそれぞれに印刷中止の操作をしてください。
- 印刷後は、バナーページと印刷ジョブそれぞれのジョブ履歴が記録されます。
- 印刷の設定によっては、バナーページが印刷ジョブと異なる用紙サイズ、用紙種類で印刷されることがあります。
- 印刷の設定によっては、バナーページが印刷ジョブと異なる排紙先に印刷されることがあります。
- バナーページの印刷文字列に半角英数字以外が使用されていると、文字化けすることがあります。
- 使用するアプリケーションによっては、複数部数を印刷するときに、部数分のバナーページが印刷されることがあります。
- 使用するアプリケーションによっては、1つの印刷ジョブに向きやサイズの異なるページが混在するとき、向きやサイズが切り替わるページの前にバナーページが挿入されることがあります。

- 使用するアプリケーションによっては、1つの印刷ジョブの中に複数のジョブがあると、ジョブごとにバナーページが挿入されることがあります。

4. プリンターの動作を設定する

操作部での、プリンターの動作の設定方法を説明します。印刷する前に設定しておくると便利な機能です。

プリンタードライバーやコマンドの設定で印刷する

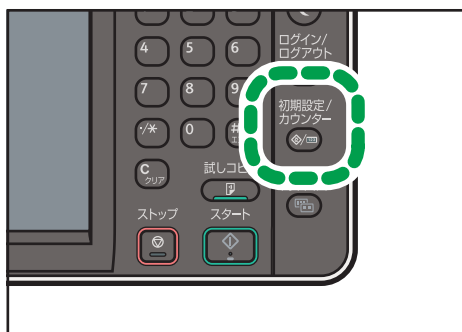
本機が印刷データを受信したときに、プリンタードライバーやコマンドの設定を優先させるか、操作部の設定を優先させるか給紙トレイごとに指定できます。

手差しトレイのみ設定できます。

工場出荷時は、操作部の設定を優先するように各給紙トレイが設定されているため、プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙設定と本機の用紙設定が一致しないときは、エラーになります。

〔トレイ設定選択〕で〔ドライバー/コマンド優先〕を選択すると、本機の〔用紙設定〕の設定にかかわらず、プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙サイズ、用紙種類、用紙方向を適用して印刷できます。

1. 〔初期設定/カウンター〕 キーを押します。



DHJ265

2. 〔プリンター初期設定〕 を押します。
3. 〔システム設定〕 タブを押します。
4. 〔トレイ設定選択〕 が表示されるまで、〔▼次へ〕 を押します。
5. 〔トレイ設定選択〕 を押します。
6. 設定する給紙トレイを選択します。
7. 〔ドライバー/コマンド優先〕 を押します。
8. 〔設定〕 を押します。
9. 〔初期設定/カウンター〕 キーを押します。

↓ 補足

- 設定項目については、P.90「システム設定」を参照してください。
- 手差しトレイで［ドライバー/コマンド優先］を選択したときは、本体の用紙設定で設定した用紙方向が適用されます。［用紙設定］で［自動検知］を選択するか、［用紙設定］で指定した用紙方向と手差しトレイの用紙セット方向を合わせてください。プリンタードライバーまたはコマンドで不定形サイズを指定したときは、プリンタードライバーまたはコマンドで指定した用紙方向が適用されます。

エラージョブの処理方法を設定する

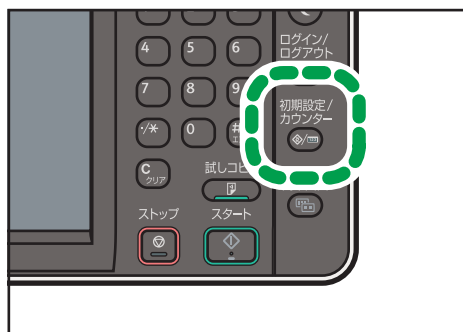
エラージョブの印刷を自動的にキャンセルする

プリンタードライバーから指示した用紙サイズや用紙種類の条件に合う給紙トレイがないとき、印刷が中断され、エラーメッセージが表示されます。給紙トレイに正しい用紙をセットし直して印刷を継続するか、印刷を自動的に中止して本機をエラーから解放するかを設定します。

★重要

- 印刷に使用するプリンター言語が RPCS、PostScript 3、PDF のとき、エラー発生時のジョブキャンセルは有効です。
- 以下の条件のとき、エラー発生時のジョブキャンセルは無効になります。
 - RHPP、RGate を使用して印刷したとき
 - スプール印刷が有効に設定されているとき
 - USB 接続など、ジョブの区切りが検知できないプロトコルを使用して印刷したとき
 - メディアプリント、蓄積文書印刷、レポート印刷、拡張機能からの印刷でエラーが発生したとき

1. [初期設定/カウンター] キーを押します。



DHJ265

2. [プリンター初期設定] を押します。

3. [システム設定] タブを押します。

4. [エラースキップ] を押します。

5. [しない] または印刷を中止するまでの時間を指定します。

[しない] を指定したときは、エラー発生後、給紙トレイに正しい用紙をセットすると印刷を継続します。

時間を指定したときは、指定した時間の経過後、自動的に印刷を中止します。

6. [設定] を押します。

7. [初期設定/カウンター] キーを押します。

↓ 補足

- 設定項目については、P.90「システム設定」を参照してください。

エラージョブを自動的に蓄積する

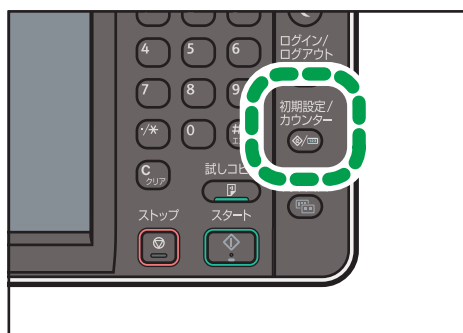
エラーで印刷が中止された文書を自動的に本機に蓄積します。エラーが発生したときに、そのまま次の文書の印刷を継続できます。通常印刷文書、試し印刷文書、保存文書でこの機能を使用できます。それぞれプリンタードライバーの「印刷方法：」メニューから指定できます。詳細は、P.49「ハードディスクに文書を蓄積して印刷する」を参照してください。

本機に蓄積された文書は、操作部を使用して印刷を再開できます。詳細は、P.63「エラーで蓄積された文書を印刷する」を参照してください。

★ 重要

- 以下のような印刷設定に関するエラーで印刷が中止されたときに、文書が自動的に蓄積されます。
 - 印刷時に指定した用紙サイズ、用紙種類の用紙がなくなったとき
 - 印刷時に指定した給紙トレイが本機にセットされていないとき
 - プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙サイズ、用紙種類が本機のどの給紙トレイとも一致しないとき
- 総ページ数 3,000 ページまで、200 件の文書を自動で蓄積できます。

1. [初期設定/カウンター] キーを押します。



DHJ265

2. [プリンター初期設定] を押します。

3. [システム設定] タブを押します。

4. [エラージョブ蓄積・追い越し] を押します。

5. [する] を押します。
6. 必要に応じて、本機がエラーを検知するページ数を変更します。
7. [設定] を押します。
8. [初期設定/カウンター] キーを押します。

↓ 補足

- 設定項目については、P.90「システム設定」を参照してください。
- 指定した文書の種類によって蓄積の方法が異なります。
 - プリンタードライバーで [通常印刷] を指定した文書は、保留印刷文書として蓄積されます。保留印刷文書の印刷については、P.56「操作部を使用して保留印刷文書を印刷する」を参照してください。
 - プリンタードライバーで [試し印刷] を指定した文書は、確認用の 1 ページ目も含めて試し印刷文書として蓄積されます。試し印刷文書の印刷については、P.50「2 部目以降を印刷する」を参照してください。
 - プリンタードライバーで [保存して印刷] を指定した文書は、保存文書として蓄積されます。保存文書の印刷については、P.61「操作部を使用して保存文書を印刷する」を参照してください。

5. 蓄積文書を印刷する

本機に蓄積された文書の印刷と管理の方法を説明します。文書の蓄積方法は、Windows 7 に付属の「ワードパッド」で RPCS プリンタードライバを使用したときを例に説明します。特にことわりのないかぎり、オプションの PostScript 3 プリンタードライバも操作手順は同じです。手順で説明している画面の表示はアプリケーションによって異なることがあります。

ハードディスクに文書を蓄積して印刷する

あらかじめプリンタードライバからの印刷指示で本機のハードディスクにデータを蓄積し、操作部を使用して蓄積したデータを印刷または削除できます。

★重要

- 以下の条件のとき、文書は本機に蓄積されません。蓄積されなかった文書は、エラー履歴で確認できます。
 - 本機に蓄積した文書データの合計が 100 件に達したとき（印刷データによっては、この文書数よりも少なくなることがあります。）
 - 1 文書の総ページ数が 1,000 ページを超えたとき
 - 送信した文書データと本機に蓄積されている文書データとの合計が 3,000 ページを超えたとき（印刷データによっては、この文書数よりも少なくなることがあります。）

この機能で利用できる印刷方法の種類は以下のとおりです。

• 試し印刷

複数部数印刷するときなど、最初に 1 部だけ印刷し、その結果を確認したあとに操作部を使用して残り部数を印刷できます。いったん本機にデータを蓄積し、操作部を使用して蓄積したデータを印刷できます。内容や印刷の指定を間違えたときなどに大量のミスプリントを防止できます。設定については、P.50「試し印刷をする」を参照してください。

• 機密印刷

ネットワークでプリンターを共有していて、他人に見られたくない文書を印刷するときなどに有効な機能です。機密印刷を使用すると、本機の操作部からパスワードを入力しないと印刷できなくなるので、他人に見られる心配がありません。設定については、P.53「機密印刷をする」を参照してください。

• 保留印刷

本機に文書を一時的に蓄積し、必要に応じて印刷できます。複数の文書をまとめて印刷するときなどに有効です。また、文書の印刷時刻を指定できます。指定した時刻になると、自動的に印刷されます。設定については、P.56「保留文書を印刷する」を参照してください。

• 保存文書

本機に文書を蓄積し、必要に応じて印刷できます。印刷終了後も文書が消去されない
ので、繰り返し印刷するときなどに有効です。設定については、P.60「保存文書を
印刷する」を参照してください。

 補足

- 本機の主電源スイッチを切っても、蓄積された印刷文書は消去されずに残りますが、
[一時置き文書自動消去設定] や [保存文書自動消去設定] が優先されます。文書の
自動消去設定については、P.89「データ操作/管理」を参照してください。

試し印刷をする

1 部目を印刷する

5

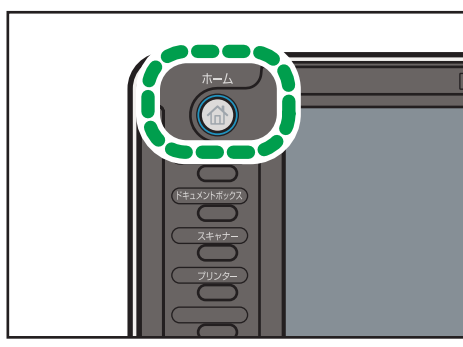
1. 画面左上のワードパッドメニューボタンをクリックし、[印刷] をクリックし
ます。
2. 「プリンターの選択」 から印刷で使用するプリンターを選択します。
3. [詳細設定] をクリックします。
4. 「印刷方法：」 プルダウンメニューから [試し印刷] を選択します。
5. [詳細...] をクリックします。
6. 「ユーザー ID の入力：」 にユーザー ID を入力します。
7. [OK] をクリックします。
8. 必要に応じて、その他の印刷条件を設定します。
9. [OK] をクリックします。
10. アプリケーションから印刷の指示をします。

2 部目以降を印刷する

 重要

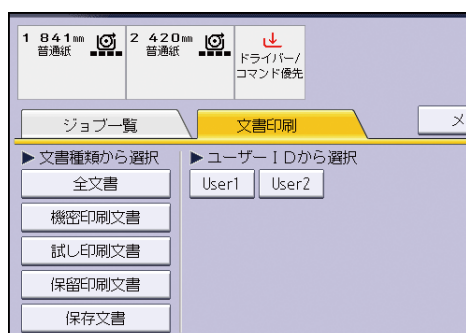
- 印刷が終了すると、蓄積されていた文書は消去されます。

1. 操作部左上の【ホーム】キーを押して、ホーム画面の【プリンター】アイコンを押します。



DHJ259

2. 【文書印刷】タブを押します。



3. 【試し印刷文書】を押します。

4. 印刷する文書を選択します。

文書を選択してから、【全ジョブ選択】を押すと、すべての試し印刷文書を選択できます。

5. 【印刷継続】を押します。

6. 印刷部数を変更するときはテンキーで部数を入力し、【印刷継続】を押します。

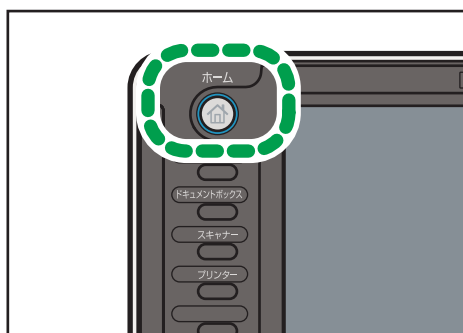
↓ 補足

- 複数の文書を選択して部数を変更すると、選択したすべての文書が変更した部数で印刷されます。部数を変更しないときは、各文書を蓄積するときに指定した部数で印刷されます。
- 2部目以降の印刷中に印刷を中止するときは、プリンター画面で【印刷取消】または【ストップ】キーを押します。印刷を中止すると、本機に蓄積した文書は消去されます。
- 試し印刷文書は、Web Image Monitor でも印刷できます。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

試し印刷文書を消去する

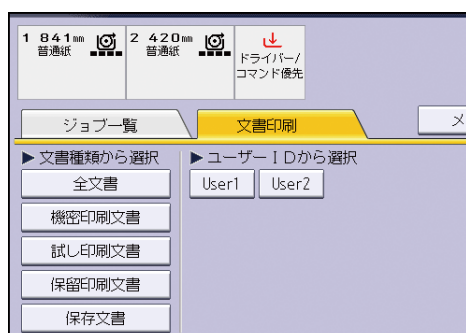
試し印刷の内容を確認し、2 部目以降を印刷しないときは、本機に蓄積されている文書を消去します。

1. 操作部左上の【ホーム】キーを押して、ホーム画面の【プリンター】アイコンを押します。



DHJZ59

2. 【文書印刷】 タブを押します。



3. 【試し印刷文書】を押します。

4. 消去する文書を選択します。

文書を選択してから、【全ジョブ選択】を押すと、すべての試し印刷文書を選択できます。

5. 【消去】を押します。

6. 【消去する】を押します。

↓ 補足

- 試し印刷文書は、Web Image Monitor でも消去できます。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

機密印刷をする

機密印刷文書を本機に蓄積する

1. 画面左上のワードパッドメニューボタンをクリックし、[印刷] をクリックします。
2. 「プリンターの選択」 から印刷で使用するプリンターを選択します。
3. [詳細設定] をクリックします。
4. 「印刷方法：」 プルダウンメニューから [機密印刷] を選択します。
5. [詳細...] をクリックします。
6. 「ユーザー ID の入力：」 にユーザー ID を入力し、「パスワード：」 にパスワードを入力します。
7. [OK] をクリックします。
8. 必要に応じて、その他の印刷条件を設定します。
9. [OK] をクリックします。
10. アプリケーションから印刷の指示をします。

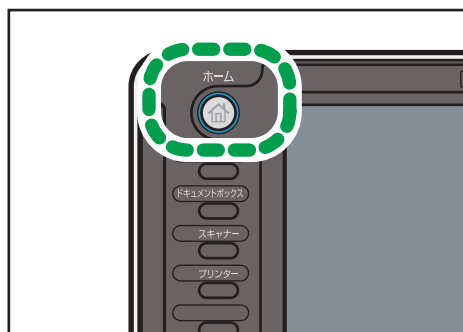
5

操作部を使用して機密印刷文書を印刷する

★重要

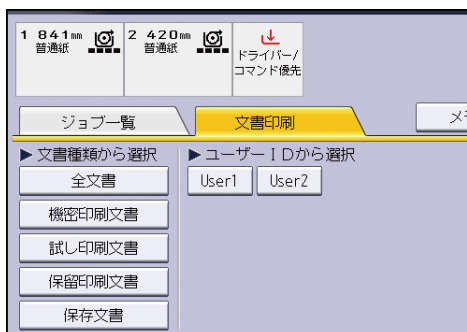
- 印刷が終了すると、蓄積されていた文書は消去されます。

1. 操作部左上の [ホーム] キーを押して、ホーム画面の [プリンター] アイコンを押します。



DHJZ59

2. [文書印刷] タブを押します。



3. [機密印刷文書] を押します。

4. 印刷する文書を選択します。

文書を選択してから、[全ジョブ選択] を押すと、すべての機密印刷文書を選択できます。

5. [印刷継続] を押します。

6. テンキーでパスワードを入力し、[実行] を押します。

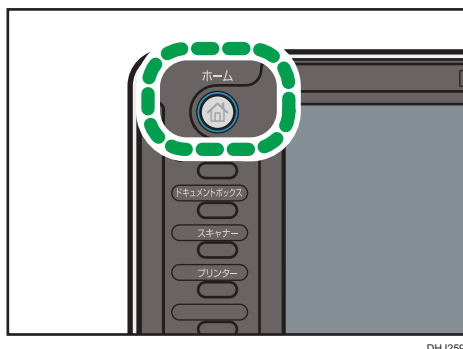
7. 印刷部数を変更するときはテンキーで部数を入力し、[印刷継続] を押します。

↓ 補足

- 複数の文書を選択したときは、パスワードが一致した文書が印刷の対象です。確認画面には、印刷される文書数が表示されます。
- 複数の文書を選択して部数を変更すると、選択したすべての文書が変更した部数で印刷されます。部数を変更しないときは、各文書を蓄積するときに指定した部数で印刷されます。
- 印刷開始後に印刷を中止するときは、プリンター画面で[印刷取消] または[ストップ] キーを押します。印刷を中止すると、本機に蓄積した文書は消去されます。
- 機密印刷文書は、Web Image Monitor でも印刷できます。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

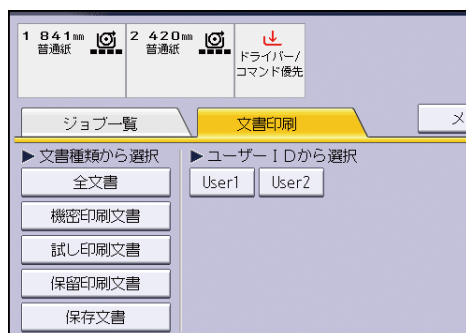
機密印刷文書を消去する

1. 操作部左上の〔ホーム〕キーを押して、ホーム画面の〔プリンター〕アイコンを押します。



DHJ259

2. 〔文書印刷〕タブを押します。



3. 〔機密印刷文書〕を押します。

4. 消去する文書を選択します。

文書を選択してから、〔全ジョブ選択〕を押すと、すべての機密印刷文書を選択できます。

5. 〔消去〕を押します。

6. テンキーでパスワードを入力し、〔実行〕を押します。

7. 〔消去する〕を押します。

↓ 補足

- 複数の文書を選択したときは、パスワードが一致した文書が消去の対象です。確認画面には、消去される文書数が表示されます。
- 機密印刷文書は、Web Image Monitor でも消去できます。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

保留文書を印刷する

保留印刷文書を本機に蓄積する

1. 画面左上のワードパッドメニューボタンをクリックし、[印刷] をクリックします。
2. 「プリンターの選択」から印刷で使用するプリンターを選択します。
3. [詳細設定] をクリックします。
4. 「印刷方法：」プルダウンメニューから[保留印刷]を選択します。
5. [詳細...] をクリックします。
6. 「ユーザー ID の入力：」にユーザー ID を入力します。
必要に応じて、ファイル名も設定できます。
7. 文書の印刷時刻を指定するときは、[印刷時刻指定] チェックボックスにチェックを付け、時刻を指定します。
指定できる印刷時刻は 24 時間形式です。
8. [OK] をクリックします。
9. 必要に応じて、その他の印刷条件を設定します。
10. [OK] をクリックします。
11. アプリケーションから印刷の指示をします。

↓ 補足

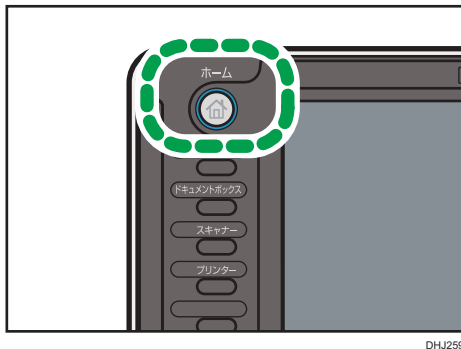
- 指定した印刷時刻と本機のシステム時計の時刻とに数分の差しかないときは、すぐに印刷されることがあります。
- 本機の主電源スイッチが切れているときは、指定した時刻に文書が印刷されません。指定時刻を過ぎた文書を印刷するときは、あらかじめ操作部の [プリンター初期設定] にある [主電源 Off 時の未処理文書] を [主電源 On で印刷する] に設定してください。詳細は、P.90 「システム設定」を参照してください。
- 操作部の画面にエラーメッセージが表示されているときは、指定した時刻であっても文書が印刷されません。

操作部を使用して保留印刷文書を印刷する

★ 重要

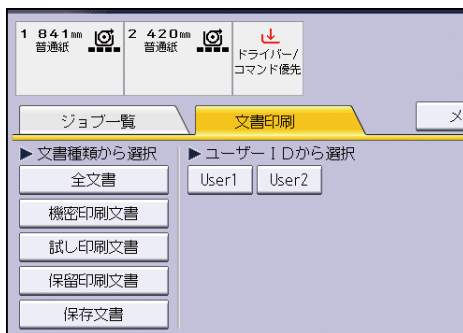
- 印刷が終了すると、蓄積されていた文書は消去されます。

1. 操作部左上の【ホーム】キーを押して、ホーム画面の【プリンター】アイコンを押します。



DHJ259

2. 【文書印刷】タブを押します。



3. 【保留印刷文書】を押します。

4. 印刷する文書を選択します。

文書を選択してから、【全ジョブ選択】を押すと、すべての保留印刷文書を選択できます。

5. 【印刷継続】を押します。

6. 印刷部数を変更するときはテンキーで部数を入力し、【印刷継続】を押します。

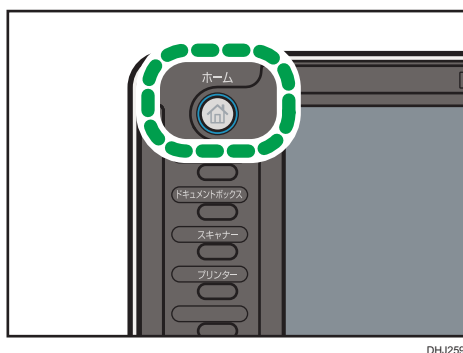
↓ 補足

- 複数の文書を選択して部数を変更すると、選択したすべての文書が変更した部数で印刷されます。部数を変更しないときは、各文書を蓄積するときに指定した部数で印刷されます。
- 印刷時刻が指定された保留印刷文書を指定時刻になる前に印刷するときは、操作部を使用して印刷します。
- 印刷開始後に印刷を中止するときは、プリンター画面で【印刷取消】または【ストップ】キーを押します。印刷を中止すると、本機に蓄積した文書は消去されます。

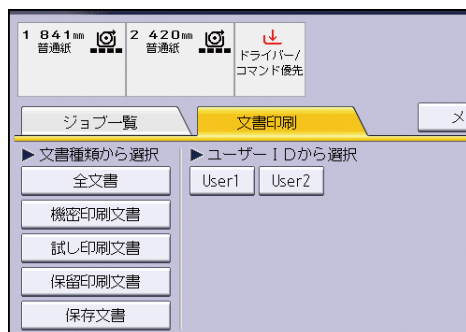
- 保留印刷文書は、Web Image Monitor でも印刷できます。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

保留印刷文書の指定時刻を変更する

1. 操作部左上の【ホーム】キーを押して、ホーム画面の【プリンター】アイコンを押します。



2. 【文書印刷】 タブを押します。



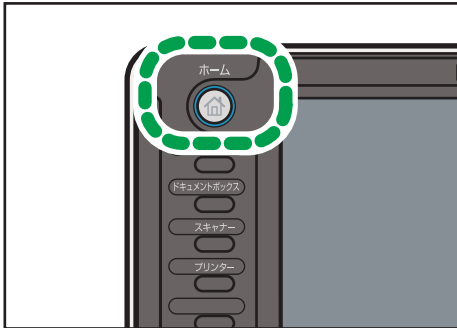
3. 【保留印刷文書】 を押します。
4. 印刷時刻を変更する保留印刷文書を選択します。
5. 【印刷時刻指定】 を押します。
6. テンキーで印刷時刻を入力します。
7. 【OK】 または 【#】 を押します。

↓ 補足

- 印刷時刻の指定を解除するときは、手順6で【解除】を押します。
- 保留印刷文書の印刷時刻は、Web Image Monitor でも変更、追加、消去できます。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

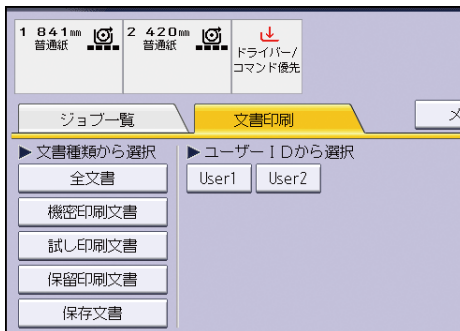
保留印刷文書を消去する

1. 操作部左上の［ホーム］キーを押して、ホーム画面の［プリンター］アイコンを押します。



DHJ259

2. [文書印刷] タブを押します。



3. [保留印刷文書] を押します。

4. 消去する文書を選択します。

文書を選択してから、[全ジョブ選択] を押すと、すべての保留印刷文書を選択できます。

5. [消去] を押します。

6. [消去する] を押します。

↓ 補足

- 保留印刷文書は、Web Image Monitor でも消去できます。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

保存文書を印刷する

保存文書を本機に蓄積する

1. 画面左上のワードパッドメニューボタンをクリックし、[印刷] をクリックします。
2. 「プリンターの選択」から印刷で使用するプリンターを選択します。
3. [詳細設定] をクリックします。
4. 「印刷方法：」プルダウンメニューから保存文書の印刷方法を選択します。

保存文書では 4 つの印刷方法を選択できます。

[プリンターに保存（共有）] と [保存して印刷（共有）] を使用するときは、あらかじめ認証を有効にします。この機能は RPCS プリンタードライバで使えます。詳細は、『セキュリティガイド』「プリンタジョブ認証」を参照してください。

- プリンターに保存
本機に文書を蓄積し、あとから操作部を使用して印刷します。
- 保存して印刷
本機に文書を蓄積するのと同時に印刷します。
- プリンターに保存（共有）
本機に文書を蓄積し、あとから操作部を使用して印刷します。文書作成者のほかに、印刷権限を持つユーザーが印刷できます。
- 保存して印刷（共有）
本機に文書を蓄積するのと同時に印刷します。文書作成者のほかに、印刷権限を持つユーザーが印刷できます。

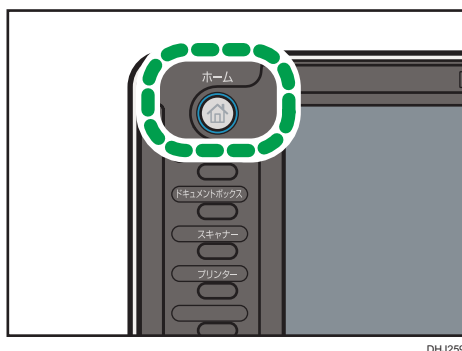
5. [詳細...] をクリックします。
6. 「ユーザー ID の入力：」にユーザー ID を入力します。
必要に応じて、ファイル名とパスワードも設定できます。
7. [OK] をクリックします。
8. 必要に応じて、その他の印刷条件を設定します。
9. [OK] をクリックします。
10. アプリケーションから印刷の指示をします。

操作部を使用して保存文書を印刷する

★重要

- 印刷が終了しても、蓄積した保存文書は消去されません。文書を消去する方法は、P.62「保存文書を消去する」を参照してください。

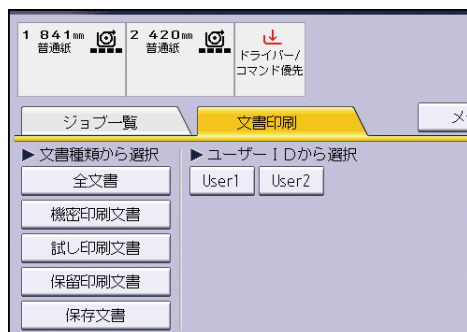
1. 操作部左上の【ホーム】キーを押して、ホーム画面の【プリンター】アイコンを押します。



DHJ259

5

2. 【文書印刷】タブを押します。



3. 【保存文書】を押します。

4. 印刷する文書を選択します。

文書を選択してから、【全ジョブ選択】を押すと、すべての保存文書を選択できます。

5. 【印刷継続】を押します。

文書にパスワードが設定されているときは、パスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力してください。

複数の文書を選択し、パスワード付の文書が含まれていたときは、パスワードが一致した文書と、パスワードが設定されていない文書が印刷の対象です。確認画面には、印刷される文書数が表示されます。

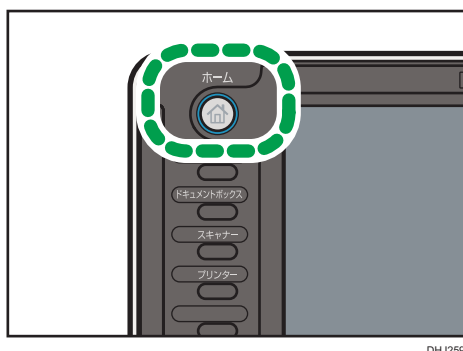
6. 印刷部数を変更するときはテンキーで部数を入力し、【印刷継続】を押します。

↓ 補足

- 複数の文書を選択して部数を変更すると、選択したすべての文書が変更した部数で印刷されます。部数を変更しないときは、各文書を蓄積するときに指定した部数で印刷されます。
- 印刷開始後に印刷を中止するときは、プリンター画面で[印刷取消]または[ストップ]キーを押します。[印刷取消]を押しても、蓄積した保存文書は消去されません。
- 保存文書は、Web Image Monitor でも印刷できます。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

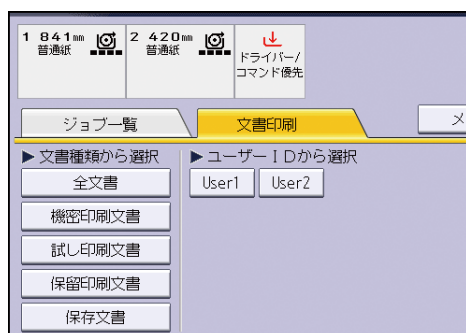
保存文書を消去する

1. 操作部左上の[ホーム]キーを押して、ホーム画面の[プリンター]アイコンを押します。



DHJ259

2. [文書印刷] タブを押します。



3. [保存文書] を押します。

4. 消去する文書を選択します。

文書を選択してから、[全ジョブ選択]を押すと、すべての保存文書を選択できます。

5. [消去] を押します。

文書にパスワードが設定されているときは、パスワード入力の画面が表示されます。パスワードを入力してください。

複数の文書を選択し、パスワード付きの文書が含まれていたときは、パスワードが一致した文書と、パスワードが設定されていない文書が消去の対象です。確認画面には、消去される文書数が表示されます。

6. [消去する] を押します。



補足

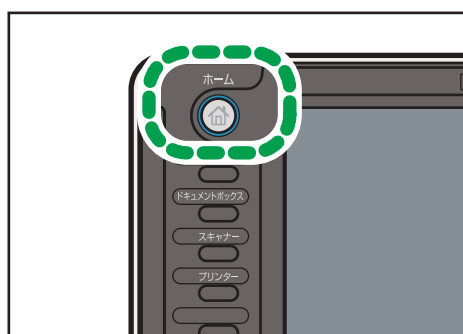
- 保存文書は、Web Image Monitor でも消去できます。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

エラーで蓄積された文書を印刷する

操作部の [プリンター初期設定] にある [エラージョブ蓄積・追い越し] により、文書が本機に蓄積されたときは、操作部を使用して印刷します。

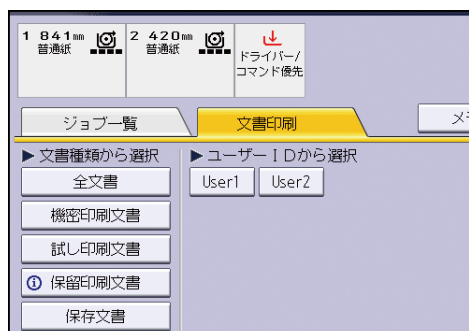
[エラージョブ蓄積・追い越し] については、P.46 「エラージョブを自動的に蓄積する」を参照してください。

1. 操作部左上の [ホーム] キーを押して、ホーム画面の [プリンター] アイコンを押します。



DHJ259

2. [文書印刷] タブを押します。



3. 印刷する文書種類を選択します。

4. 印刷する文書を選択します。

文書を選択してから、[全ジョブ選択] を押すと、同じ種類の文書をすべて選択できます。

5. [印刷継続] を押します。

文書にパスワードが設定されているときは、パスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力します。

複数の文書を選択した場合に、パスワード付の文書が含まれていたときは、パスワードが一致した文書とパスワードが設定されていない文書が印刷の対象です。確認画面には、印刷される文書数が表示されます。

6. 印刷部数を変更するときはテンキーで部数を入力し、[印刷継続] を押します。

↓ 補足

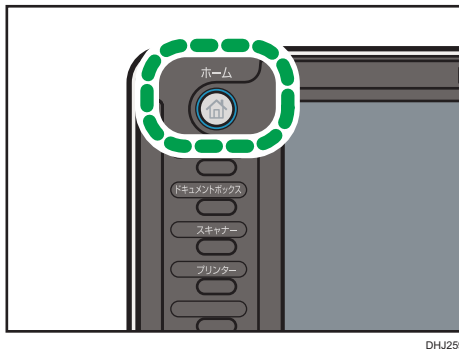
- 複数の文書を選択して部数を変更すると、選択したすべての文書が変更した部数で印刷されます。部数を変更しないときは、各文書を蓄積するときに指定した部数で印刷されます。
- 印刷開始後に印刷を中止するときは、プリンター画面で[印刷取消] または[ストップ] キーを押します。
- 本機に蓄積された文書は、Web Image Monitor でも印刷を再開できます。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

ユーザー ID から印刷する

★ 重要

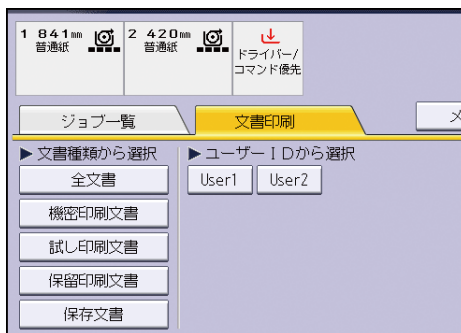
- 印刷が終了すると、試し印刷文書、機密印刷文書、保留印刷文書は消去されます。保存文書は、消去されません。保存文書を消去する方法は P.62 「保存文書を消去する」を参照してください。

1. 操作部左上の【ホーム】キーを押して、ホーム画面の【プリンター】アイコンを押します。



DHJ259

2. 【文書印刷】タブを押します。



5

3. 印刷するユーザー ID を選択します。

複数のユーザー ID を同時に選択できません。

4. 印刷する文書を選択します。

文書を選択してから、【全ジョブ選択】を押すと、同じ種類の文書をすべて選択できます。

5. 【印刷継続】を押します。

文書にパスワードが設定されているときは、パスワード入力の画面が表示されます。パスワードを入力します。

複数の文書を選択した場合に、パスワード付の文書が含まれていたときは、パスワードが一致した文書とパスワードが設定されていない文書が印刷の対象です。確認画面には、印刷される文書数が表示されます。

6. 印刷部数を変更するときはテンキーで部数を入力し、【印刷継続】を押します。

↓ 補足

- 複数の文書を選択して部数を変更すると、選択したすべての文書が変更した部数で印刷されます。部数を変更しないときは、各文書を蓄積するときに指定した部数で印刷されます。
- 印刷開始後に印刷を中止するときは、プリンター画面で[印刷取消] または [ストップ] キーを押します。

保存文書にアクセス権を設定する

プリンタードライバーからの印刷指示で本機に蓄積された保存文書のアクセス権は、Web Image Monitor から設定できます。

1. Web Image Monitor に管理者モードでログインします。

ログイン方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』『Web ブラウザーを使用する』を参照してください。

2. メニューエリアの [文書操作] から [プリンター文書印刷] をクリックします。

3. アクセス権を変更する保存文書の [詳細情報] アイコンをクリックします。

4. 「アクセス権」の [変更] をクリックします。

パスワードの確認画面が表示されたときは、パスワードを入力します。

5. ユーザーのアクセス権を選択します。

アクセス権は、[閲覧]、[編集]、[編集/削除]、[フルコントロール] のいずれかを選択します。

全ユーザーに設定するときは、「公開」にある「すべてのユーザー」のなかからアクセス権を選択します。

6. [OK] をクリックします。

7. [ログアウト] をクリックします。

8. Web Image Monitor を終了します。

↓ 補足

- 選択できるアクセス権については、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

ドキュメントボックスに文書を蓄積して印刷する

ドキュメントボックスを使用するとパソコンで作成した原稿を本機のハードディスクに蓄積し、本機の操作だけで必要なときに必要な条件で印刷できます。

★ 重要

- ドキュメントボックスにデータを送っているときは、途中でキャンセルしないでください。正しくキャンセルされないことがあります。誤ってキャンセルしたときは、送信したデータを本機の操作部で消去してください。ドキュメントボックスに蓄積した文書を消去する方法は、『コピー/ドキュメントボックス』『蓄積した文書を消去する』または Web Image Monitor のヘルプを参照してください。
- ドキュメントボックスに蓄積できる文書数は 3,000 件までです。蓄積文書が 3,000 件に達すると新しい文書が蓄積されなくなります。ただし、蓄積文書数が 3,000 件に達しないときでも、以下の条件のとき、新しい文書は蓄積されません。
 - 1 文書の総ページ数が 1,000 ページを超えるとき
 - 送信した印刷データと本機に蓄積されている文書との合計が 3,000 ページを超えるとき（印刷データによっては、この文書数よりも少なくなることがあります。）
 - ハードディスクの容量がなくなったとき

パソコンで作成したデータをドキュメントボックスに送ります。ユーザー ID などの設定は、使用する OS やプリンタードライバによって異なります。

以下のプリンタードライバを使用できます。

Windows

- RPCS（標準）
- PostScript 3（オプション）

Mac OS X

- PostScript 3（オプション）

↓ 補足

- 不要になった文書はできるだけ消去してください。ドキュメントボックスに蓄積した文書を消去する方法は、『コピー/ドキュメントボックス』『蓄積した文書を消去する』または Web Image Monitor のヘルプを参照してください。
- Mac OS X での設定については、『PostScript 3』『ドキュメントボックス』を参照してください。

ドキュメントボックスに文書を蓄積する

アプリケーションから蓄積する方法を説明します。ここでは、Windows 7 に付属の「ワードパッド」を例にします。手順で説明している画面の表示は、アプリケーションによって異なることがあります。

★ 重要

- ドキュメントボックス以外の機能でハードディスクを使用しているときは、規定の文書数に達する前に蓄積できなくなることがあります。

- 画面左上のワードパッドメニューボタンをクリックし、[印刷] をクリックします。
- 「プリンターの選択」から印刷で使用するプリンターを選択します。
- [詳細設定] をクリックします。
- 「印刷方法：」プルダウンメニューから [ドキュメントボックス] を選択します。
- [詳細...] をクリックします。
- 必要に応じてユーザー ID、ファイル名、パスワードを入力します。
RPCS プリンタードライバーを使用するときは、ユーザー名も入力できます。
- 「フォルダー番号：」ボックスで文書を蓄積するフォルダーの番号を指定します。
「フォルダー番号：」ボックスで 0 を指定したときは、共有フォルダーに保存されます。
- フォルダーにパスワードが設定されているときは、「フォルダーパスワード：」ボックスにパスワードを入力します。
- [OK] をクリックします。
- 必要に応じて、その他の印刷条件を設定します。
- [OK] をクリックします。
- アプリケーションから印刷の指示をします。

↓ 補足

- ドキュメントボックスに蓄積した文書は操作部を使用して印刷します。詳細は、『コピー/ドキュメントボックス』『蓄積した文書を印刷する』を参照してください。

ドキュメントボックスに蓄積された文書の管理

Ridoc Desk Navigator や Web Image Monitor を使用すると、本機のドキュメントボックスに蓄積されている文書をパソコンから確認できます。

↓ 補足

- Ridoc Desk Navigator の操作方法は、Ridoc Desk Navigator のヘルプを参照してください。
- Web Image Monitor の操作方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「Web ブラウザーを使用する」、または Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

6. 外部メディアを接続して印刷する

本機に接続した外部メディアから直接印刷する機能について説明します。

メディアスロットから直接印刷する(メディアプリント)

⚠ 注意



- SD カード、USB メモリーは、子供の手に触れないようにしてください。もし子供が誤って SD カード、USB メモリーを飲み込んだときは、直ちに医師の診断を受けてください。

外部メディア（USB メモリーまたは SD カード）を本機に接続して、外部メディアの文書を直接印刷できます。

JPEG、TIFF、または PDF 形式の文書を印刷できます。

コンピューターを使用しないで、簡単に印刷できる便利な機能です。

↓ 補足

- PDF ファイルのサイズが大きいときは、直接印刷できないことがあります。
- PDF ダイレクト印刷中に PDF ファイルの送信が取り消されるときは、[プリンター初期設定] で [システム設定] の [優先メモリー] を [ユーザーメモリー] に設定してください。[ユーザーメモリー] に設定してもジョブリセットされるときは、Acrobat Reader などの PDF ビューワーからプリンタードライバーを使用し、印刷してください。

印刷できるファイル形式

JPEG 形式

- Exif バージョン 1.0 以降の JPEG ファイルに対応しています。

TIFF 形式

- 以下の形式の TIFF ファイルに対応しています：無圧縮の TIFF ファイル、または MH、MR、MMR 形式で圧縮された TIFF ファイル。

PDF 形式

- Adobe 純正の PDF に対応しています。
- PDF バージョン 1.7（Acrobat 8.0 互換）までの PDF ファイルに対応しています。
- PDF バージョン 1.5 の固有機能である Crypt Filter や、8 コンポーネントを超える DeviceN のカラースペースには対応していません。

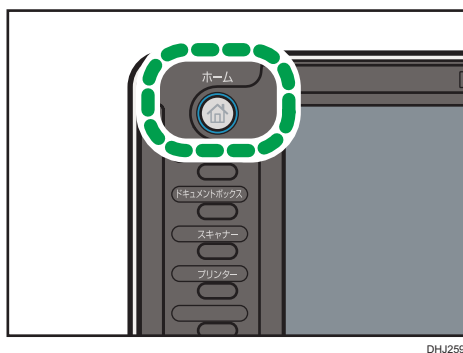
- PDF バージョン 1.6 の固有機能であるウォーターマーク注釈や、バージョン 1.6 で機能拡張されたオプショナルコンテンツには対応していません。
- PDF バージョン 1.7 の固有機能である AcroForm を使用している PDF ファイルには対応していません。

メディアプリント機能で印刷する

1. 外部メディアをメディアスロットに差し込みます。

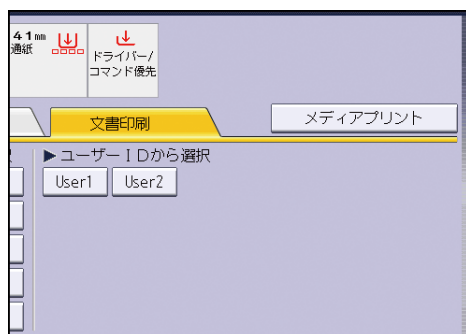
外部メディアの取り付けかたについては、『本機のご利用にあたって』「外部メディアを取り付ける/取り外す」を参照してください。

2. 操作部左上の【ホーム】キーを押して、ホーム画面の【プリンター】アイコンを押します。



DHJ259

3. 【メディアプリント】を押します。



4. メディアの一覧から、印刷する文書が保存されている外部メディアを選択します。

一度に選択できる外部メディアはひとつだけです。

5. 印刷する文書を選択します。

同じフォルダーに保存されている同じファイル形式の文書は、複数同時に選択できません。

6. 必要に応じて【印刷詳細設定】を押し、印刷の設定をします。

機能によっては同時に設定できないことがあります。

設定が完了したら【OK】を押します。

7. 【印刷開始】または【スタート】キーを押して、印刷を開始します。

パスワードで保護された PDF を印刷するときは、パスワードを入力します。

8. 印刷が終了したら、【メディア選択画面へ戻る】を押します。

9. 外部メディアを取り外します。

外部メディアの取り外しかたについては、『本機のご利用にあたって』「外部メディアを取り付ける/取り外す」を参照してください。

↓ 補足

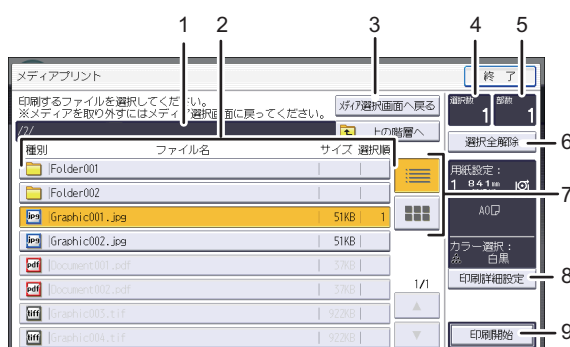
- セキュリティーの設定によっては、【メディアプリント】が画面に表示されないことがあります。詳細は、『セキュリティーガイド』「メディアスロットへのアクセスを制限する」を参照してください。
- 異なるファイル形式の文書は、同時に選択できません。
- フォルダーを移動したり、別の外部メディアを選択したりしたときは、ファイルの選択は解除されます。
- ファイルサイズが 1GB を超える文書は印刷できません。
- JPEG 形式の文書は、サイズの合計が 1GB 以内であれば、最大 999 の文書を同時に選択できます。
- JPEG 形式の文書を選択しているときは、用紙サイズの自動選択ができません。
- JPEG 形式の文書を選択しているときは回転ソートできません。
- JPEG 形式または TIFF 形式のファイルを選択しているときは製本印刷できません。
- 上記の手順で操作している間に別の外部メディアを挿入したときは、その外部メディアのルート階層にある文書やフォルダーの一覧が表示されます。
- 外部メディアを複数の領域（パーティション）に分割しているときは、先頭のパーティションのデータが読み込まれます。
- メディアスロットに USB メモリーを差している間は、【メディアアクセス】ランプが常に点灯します。
- メディアスロットに SD カードを差している間は、【メディアアクセス】ランプが点灯または点滅します。ランプが点滅している間は、SD カードを抜かないでください。
- 【メディアアクセス】ランプが点滅している間は、外部メディアを取り外したり USB ケーブルを抜いたりしないでください。

メディアプリント画面

メディアプリント画面では、外部メディアに保存されている文書をリスト表示かサムネール表示で確認できます。

↓ 補足

- メディアプリント画面の表示方法は、P.72「メディアプリント機能で印刷する」の手順 2～3 を参照して下さい。



DHJ661

1. 現在のフォルダー

表示されているフォルダーの場所を表示します。上の階層のフォルダーに戻りたいときは、[上の階層へ] を押します。

2. 文書/フォルダー一覧

印刷する文書やフォルダーを選択します。必要に応じて、[▲] [▼] で画面をスクロールしてください。

文書の形式、名前、サイズを表示します。複数の文書を選択しているときは、選択された順番も表示します。

文書の数によって、最大 999 ページ分の画面をスクロールできます。

3. [メディア選択画面へ戻る]

メディア選択画面に表示を切り替えます。

4. 選択数

選択した文書の数を表示します (1～999)。

5. 部数

数字キーを押して、印刷部数を指定します (1～999)。

6. [選択全解除]

文書の選択をすべて解除します。

7. リスト/サムネール

一覧画面をリスト表示とサムネール表示で切り替えます。

8. [印刷詳細設定]

印刷の詳細設定をします。

9. [印刷開始]

選択した文書を印刷します。

↓ 補足

- 本機は、合計 7992 までの外部メディア内のファイルやフォルダーを表示できます。
- 外部メディア内のファイル名には、パスも含めて、255 バイトまで使用できます。本機が正しく表示できない文字は、ファイル名に使用できません。
- Exif 規格と DCF 規格準拠の JPEG 形式のファイルはサムネールを表示できます。その他のファイルはアイコンが表示されます。
- 印刷できる用紙サイズについては、『用紙の仕様とセット方法』「セットできる用紙サイズ、種類」を参照してください。
- 不定形サイズの PDF ファイルは印刷できないことがあります。
- 印刷設定は、ファイルの選択をすべて解除するまで保持されます。

7. ファイルを直接印刷する

プリンタドライバを使用せずに直接ファイルを印刷する方法について説明します。
Web Printing Tool やコマンドを使用して印刷する方法があります。

Web Printing Tool を使用する

Web ブラウザー上で設定を行い、印刷条件を付加したファイルを直接本機に送ることが出来ます。

Web Printing Tool を使用して印刷できるファイルは、HP-GL、HP-GL/2、HP-RTL、TIFF、CALS、JPEG、PDF、および PS3 です。

RP-GL/2

HP-GL、HP-GL/2 および HP-RTL ファイルの印刷をサポートします。

RP-GL/2 の概要や、印刷可能データなどその他詳細は、下記を参照してください。

- 『RP-GL/2&RTIFF』 「RP-GL/2 エミュレーションとは」
- 『RP-GL/2&RTIFF』 「RP-GL と RP-GL/2 の主な違い」
- 『RP-GL/2&RTIFF』 「HP-GL、HP-GL/2、HP RTL について」
- 『RP-GL/2&RTIFF』 「RP-GL/2 エミュレーション使用上の注意」

ftp、lpr などのコマンドを使用しての印刷については、『RP-GL/2&RTIFF』を参照してください。

RTIFF

TIFF、CALS および JPEG ファイルの印刷をサポートします。

RP-GL/2 の概要や、印刷可能データなどその他詳細は、下記を参照してください。

- 『RP-GL/2&RTIFF』 「RTIFF エミュレーションとは」
- 『RP-GL/2&RTIFF』 「使用上の注意事項」
- 『RP-GL/2&RTIFF』 「入力データの仕様」

ftp、lpr などのコマンドを使用しての印刷については、『RP-GL/2&RTIFF』を参照してください。

PDF

PDF ファイルの印刷をサポートします。

PDF で印刷可能なデータやコマンドについての詳細は、P.83 「コマンドを使用する」を参照してください。

PS3

PS3 ファイルの印刷をサポートします。

↓ 補足

- Web Printing Tool で指定した設定は、操作部の設定より優先されます。
- Web Printing Tool では、RP-GL/2 と RTIFF の全ての印刷条件項目に対応していません。無い項目が必要なときは、操作部から印刷条件をプログラム登録して、ftp、lpr などのコマンドを使用して印刷してください。
- PDF、PS の Web Printing Tool に無い項目については、操作部より [プリンター初期設定] の「PS 設定」「PDF 設定」で設定して印刷できます。
- 印刷設定項目の詳細については、『RP-GL/2&RTIFF』「印刷条件を設定する」「印刷条件の設定」を参照してください。
- 対応しないフォーマットについては、プリンター本体への送信を行いません。

Web Printing Tool の動作環境

Web ブラウザー

推奨：

- Windows:
Microsoft Internet Explorer 6.0.28 or later
- Macintosh:
Safari bundled with Mac OS X 10.4 or later

Java

Java 2 Platform Standard Edition 1.5.0 or later

Java Runtime Environment. 下記からダウンロードしてください。

<http://www.java.com/>

Java Runtime Environment の制約

JRE6.0

JRE バージョン 1.6.0-1.6.0_03 で [インターネット一時ファイル] を有効にするに設定していると、Web Printing Tool が正常に起動しないことがあります。このようなときは、一時ファイルを削除してから、Java コントロールパネルで「インターネット一時ファイル」を無効にします。

JRE7.0

JRE バージョン 7 以降では、標準の設定では Web Printing Tool を起動できません。下記手順に従い、設定を変更してください。

1. Java コントロール・パネルを開きます。
 - Windows OS

[スタート] メニューから [コントロールパネル] - [Java] をクリックします。

- Mac OS

[システム環境設定] - [Java] をクリックします。

2. [セキュリティ] タブ - [サイト・リストの編集] をクリックします。
3. [追加] をクリックし、「場所」にプリンター本体の IP アドレスを入力します。
4. [OK] をクリックします。

警告ダイアログが表示されたら、[続行] をクリックします。

例外サイト・リストにプリンター本体の IP アドレスが追加され、Web Printing Tool の起動が可能となります。

↓ 補足

- プロキシサーバーを使用しているときは、Web ブラウザの設定を変更します。設定については、管理者に問い合わせてください。
- 同一ネットワーク内の Web Printing Tool を使用することをお勧めします。
- ファイアウォールの外側から本機にアクセスすることはできません。
- DHCP 環境下で使用しているときは、IP アドレスが自動的に DHCP サーバの設定によって変更されます。
- 本機の DDNS の設定を有効にしてから、本機のホスト名を使用して接続してください。
- 別の方法として、DHCP サーバに静的 IP アドレスを指定します。
- Windows Server2003/2003 R2/ 2008/2008 R2/2012/2012 R2 環境で IPv6 プロトコルでホスト名を使用するときは、外部 DNS サーバーを使用して、ホスト名を解決します。
- hosts ファイルは使用できません。

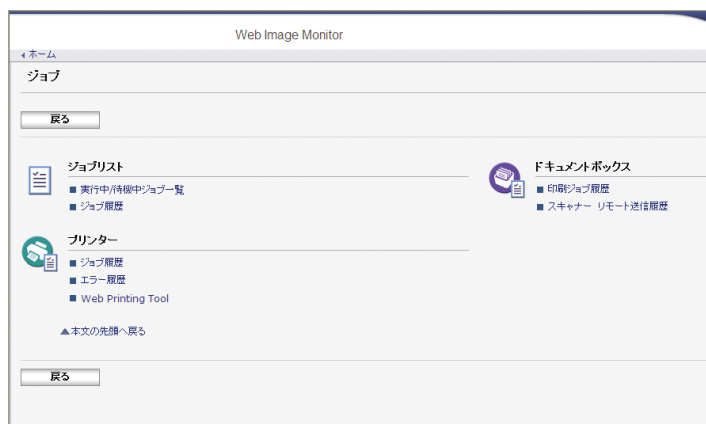
Web Printing Tool へアクセスする

1. Web Image Monitor へログインします。

ログイン方法については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「Web ブラウザーを使用する」を参照してください。

2. [機器の情報] の [ジョブ] をクリックします。

3. [Web Printing Tool] をクリックします。



初めてアクセスしたときは、ActiveX コントロールに関するセキュリティー警告メッセージが表示されます。

4. Web ブラウザー上に表示されるプロンプトに従い、ブロックされたコンテンツを許可します。

Java アプレットに関連した証明書の警告ダイアログが表示されます。

5. [この発行者からのコンテンツを常に信頼します。] のチェックボックスにチェックを入れます。

このチェックボックスを選択せずに Web Printing Tool にアクセスすることもできます。ただしその場合、アクセスするたびにこのダイアログが表示されます。

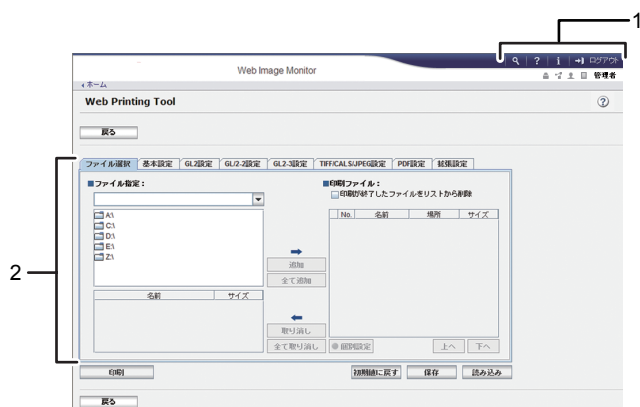
6. [実行] をクリックします。

Web Printing Tool のトップページが表示されます。

↓ 補足

- Java アプレットに関連した証明書が有効でないときは、次の設定が有効になっているかを確認するために、コントロールパネルの [Java] を確認してください。
 - ユーザーが署名済みコンテンツへアクセス権を与えることを許可する
 - ユーザーが信頼できない認証局からのコンテンツへアクセス権を与えることを許可する
- Safari を使用して、「JAVA がこのサイトでブロックされました」のメッセージが表示されたときは、これをクリックし、「Web サイト（プリンター本体の IP）を信頼して“JAVA” プラグインを使用しますか？」ダイアログで [信頼] を選択してください。
- Web Printing Tool の表示言語を変更するときは、Web Image Monitor のトップページから、言語の [切り替え] を実施してください。

画面構成



DHJ662

1. ヘッダーエリア

Web Image Monitor と同様です。

詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』『Web Image Monitor のトップページを表示する』を参照してください。

2. 印刷ファイル指定、印刷項目設定エリア

印刷するファイルを指定し、印刷項目を設定する領域です。

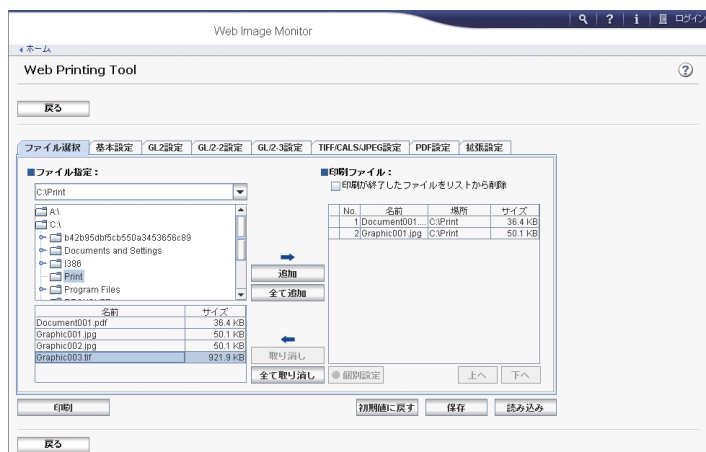
↓ 補足

- 詳細は、Web Printing Tool のヘルプを参照してください。

Web Printing Tool の基本操作

1. 印刷ファイル指定、印刷項目設定エリアの「基本設定」または各種の設定タブで、印刷項目を設定します。
2. 左側の「ファイル指定：」領域で、印刷するファイルが格納されたフォルダーを選択します。
選択したフォルダー内のファイル一覧が、「ファイル指定：」領域の下部に表示されます。

3. 印刷するファイルを選択し、[追加] をクリックします。



[全て追加] でフォルダ内のファイルを一括追加することもできます。

右側の「印刷ファイル：」領域に追加したファイルが表示されます。

4. [印刷] をクリックします。

補足

- 印刷する前に「印刷ファイル：」領域でファイルを選択し、[個別設定] をクリックして、個別に印刷設定もできます。
- 「印刷ファイル：」領域に、ファイルやフォルダをドラッグ&ドロップすることでもできます。フォルダのときは、サブフォルダ内のファイルも追加されます。

ヘルプの使いかた

Web Image Monitor と同様です。

『ネットワークの接続/システム初期設定』『Web Image Monitor のヘルプを表示する』を参照してください。

コマンドを使用する

ftp、sftp、lpr などのコマンドを使用して、ファイルを開くアプリケーションを起動することなく、ファイルを直接印刷できます。

ここでは、PDF ファイルの印刷を例に説明します。HP-GL、HP-GL/2、HP-RTL、TIFF、CALS、JPEG ファイルをコマンドを使用して印刷するときは、『RP-GL/2 & RTIFF』を参照してください。

↓ 補足

- Windows OS でコマンドを使用して直接印刷する方法については、『付録』「Windows からファイルを直接印刷する」を参照してください。

コマンドで PDF ファイルを印刷する

PDF ファイルを送信する方法について説明します。ここでは、lpr コマンドを例に説明します。

lpr コマンドでは、本機の IP アドレスのほか、PDF ファイル名を指定します。書式は次のとおりです。

C:>lpr -S 本機の IP アドレス（またはホスト名） [-o l] ¥パス¥ファイル名

7

コマンドでパスワード付き PDF ファイルを印刷する

パスワード保護された PDF ファイルを直接印刷する方法について説明します。

パスワード保護された PDF ファイルを直接印刷するには、操作部または Web Image Monitor のいずれかでパスワードを指定します。

操作部を使用する

操作部を使用して PDF パスワードを設定するには、[プリンター初期設定] の [PDF 設定] で [PDF パスワード変更] を設定します。詳細は、P.101 「PDF 設定」を参照してください。

Web Image Monitor を使用する

Web Image Monitor を使用して PDF パスワードを設定するには、[設定] の [PDF 一時パスワード] を設定します。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

8. プリンター初期設定

本機で設定できる「プリンター初期設定」の各種項目について説明します。

テスト印刷

本機の使用環境や印刷に関する設定を変更したとき、またはプログラムを登録したときは、設定状況の一覧表を印刷して確認することをお勧めします。

印字できるすべての文字やフォントの種類も印刷して確認できます。

一括リスト印刷

システム設定リストとエラー履歴を印刷します。

システム設定リスト

プリンター初期設定の設定値を印刷します。

エラー履歴

印刷時に発生したエラー情報を、エラー履歴として印刷します。オートジョブキャンセルや、パネルからのジョブキャンセル情報も出力されます。

エラー履歴には最新の 30 件が蓄積されます。すでに 30 件蓄積されているときに新たなエラーが加わると、最も古い履歴が消去されます。ただし最も古い履歴が試し印刷、機密印刷、保留印刷、保存印刷のときは消去されずに蓄積エラー履歴として 30 件別に蓄積されます。

印刷条件リスト

印刷条件の設定値を印刷します。エミュレーションで [RPDL]、[RPGL]、[RTIFF] を選択しているときに印刷できます。

登録フォームリスト

本機に登録されているフォームの一覧を印刷します。エミュレーションで [RPDL] を選択しているときに印刷できます。フォーム未登録のときは画面に約 2 秒間メッセージを表示するだけで、フォームリストは印刷されません。

全文字印刷

印刷できるすべての文字を印刷します。エミュレーションで [RPDL] を選択しているときに印刷できます。

フォントリスト

印刷できるすべてのフォントを印刷します。エミュレーションで [RPDL] を選択しているときに印刷できます。

PS 情報リスト

PostScript の設定情報と PostScript が使用できるフォントリストを印刷します。エミュレーションで [PS3] を選択しているときに印刷できます。

PDF 情報リスト

PDF の設定情報と PDF が使用できるフォントリストを印刷します。エミュレーションで [PDF] を選択しているときに印刷できます。

ヘキサダンプ

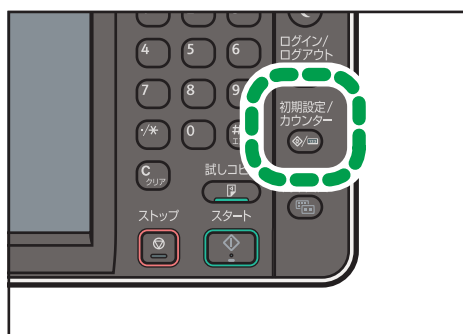
印刷不良の原因を調べるために、パソコンから送られてきたデータを 16 進数で印刷します。

↓ 補足

- 給紙トレイの中から A4 (Letter) サイズの普通紙 / 再生紙がセットされているトレイを自動で選択します。もし、どの給紙トレイにも A4 (Letter) サイズの普通紙 / 再生紙がセットされていないときは、優先給紙トレイを選択します。優先給紙トレイにセットされている用紙サイズが A4 (Letter) サイズより小さいと、端が切れることがあります。逆に優先給紙トレイにセットされている用紙サイズが A4 (Letter) サイズより大きいと、余白が大きくなる場合があります。
- テスト印刷で出力されるシステム設定リスト、エラー履歴は、レイアウトが A4 (または Letter) サイズに固定されます。したがって給紙トレイのいずれかに、A4 (または Letter) サイズの用紙 (普通紙・再生紙) をセットすることをお勧めします。
- 印刷条件リスト、登録フォームリスト、全文字印刷、フォントリスト、PS 情報リスト、PDF 情報リストは優先給紙トレイから出力されます。優先給紙トレイに A4 より大きいサイズの用紙があるときは、それぞれの用紙のサイズに合わせて拡大されて出力されます。

テスト印刷する

1. [初期設定/カウンター] キーを押します。



DHJ265

2. [プリンター初期設定] を押します。
3. [テスト印刷] タブから印刷する項目を押します。
[ヘキサダンプ] を選んだときは、ここでは何も印刷されません。
4. [初期設定/カウンター] キーを押します。

システム設定リストの印刷例です。

システム設定リストの印刷例です。

DNR601

本機やシステムのバージョン、カウンター情報、メモリー容量、取り付けた外部オプションの名称などの情報です。

トレイの用紙サイズと紙種が表示されます。用紙サイズは本機の操作部で設定した値です。
「不定形サイズ」と記載されているときは、フリーサイズに設定されています。
用紙サイズで「R」と記載されているときは、用紙方向が□に設定されています。

3. データ操作/管理

プリンター初期設定の［データ操作/管理］タブにある項目と設定値です。*印が付いている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

4. システム設定

プリンター初期設定の［システム設定］タブにある項目と設定値です。*印が付いている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

5. システム設定 (EM)

プリンター初期設定の［システム設定 (EM)］タブにある項目と設定値です。*印が付いている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

6. 登録プログラム一覧

登録されているプログラムのエミュレーションが表示されます。

7. PS 設定

プリンター初期設定の［PS 設定］タブにある項目と設定値です。*印が付いている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

8. PDF 設定

プリンター初期設定の［PDF 設定］タブにある項目と設定値です。*印が付いている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

9. 印字設定

プリンター初期設定の［印字設定］タブにある項目と設定値です。*印が付いている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

10. インターフェース設定

システム初期設定またはプリンター初期設定の、インターフェース設定の項目と設定値です。

11. インターフェース情報

動作モードやプリンター名など、インターフェース設定の情報です。

↓ 補足

- [PS 設定] は、オプションの PS3 カードが追加されたときに表示されます。

データ操作/管理

メニュープロテクト

管理者以外のユーザーでも設定を変更できる機能に、ユーザーのアクセス権のレベルを設定します。メニュープロテクトの設定によっては、管理者以外のユーザーが設定できる機能が制限されています。

メニュープロテクトについては、『セキュリティガイド』「メニュープロテクトを設定する」を参照してください。

テスト印刷禁止

〔する〕に設定すると、テスト印刷を禁止します。

一時置き文書全消去

本機に一時的に蓄積されている試し印刷文書、機密印刷文書、保留印刷文書をすべて消去します。

保存文書全消去

本機に蓄積されている保存文書をすべて消去します。

一時置き文書自動消去設定

本機に一時的に蓄積されている試し印刷文書、機密印刷文書、保留印刷文書を自動で消去するかしないかを設定します。

印刷指定時刻が有効な保留印刷文書は、自動で消去できません。

- する

自動消去する時間を 1～200 時間（1 時間単位）の範囲でテンキーで入力します。

するを選択したときの工場出荷時の設定は、8 時間に設定されています。

- しない

工場出荷時の設定：しない

保存文書自動消去設定

本機に蓄積されている保存文書を自動で消去するかしないかを設定します。

- する

自動消去する時間を 1～180 日（1 日単位）の範囲でテンキーで入力します。

するを選択したときの工場出荷時の設定は、3 日に設定されています。

- しない

工場出荷時の設定：する



補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

システム設定

エラーレポート印刷

印刷処理中に、文法エラー、メモリー不足などにより正常に印刷できなかったとき、エラーレポートを印刷するかしないかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：しない

エラースキップ

プリンタードライバーから指示した用紙サイズや用紙種類の条件に合う給紙トレイがないときの本機の動作を設定します。この機能の設定については、P.45「エラージョブの印刷を自動的にキャンセルする」を参照してください。

- しない

印刷が中断され、エラーメッセージが表示されます。エラー発生後、給紙トレイに正しい用紙をセットすると印刷を継続します。

- 即時、1分、5分、10分、15分

指定した時間の経過後、自動的に印刷を中止し、本機をエラーから解放します。

工場出荷時の設定：しない

エラージョブ蓄積・追い越し

エラーで印刷が中止された文書を自動的に本機に蓄積します。エラーが発生したときに、そのまま次の文書の印刷を継続できます。通常印刷文書、試し印刷文書、保存文書でこの機能を使用できます。それぞれプリンタードライバーの「印刷方法：」メニューから指定できます。詳細は、P.49「ハードディスクに文書を蓄積して印刷する」を参照してください。

本機に蓄積された文書は、操作部を使用して印刷を再開できます。詳細は、P.63「エラーで蓄積された文書を印刷する」を参照してください。

指定した文書の種類によって蓄積の方法が異なります。詳細は、P.46「エラージョブを自動的に蓄積する」を参照してください。

- する

本機がエラーを検知するページ数を1～999ページの範囲で指定できます。

エラーを検知するページ数が2ページ以上のときは、1ページ目の印刷速度が遅くなることがあります。

- しない

工場出荷時の設定：しない

画像エラー処理

送信されたデータサイズが大きく、プリンター内部でデータを処理できないときのプリンターの動作を設定します。

- 印刷取消

エラーが発生したページでジョブをキャンセルします。キャンセルされたページ以降は印刷されません。

- エラーシート印刷

エラーが発生したページは、エラーが発生した箇所まで印刷されます。エラーが発生したページ以降は通常どおり印刷され、最後にエラーシートが印刷されます。ただし、電子ソートとステープルは解除されます。

工場出荷時の設定：**印刷取消**

エラー表示設定

プリンター内部でのデータ処理中に発生したエラーをディスプレイに表示するかしないかを設定します。

- 簡易表示

- すべて表示

工場出荷時の設定：**すべて表示**

回転ソート：回転給紙継続設定

回転ソートを設定していて、給紙トレイにセットした縦方向または横方向の用紙がなくなったときに、印刷を継続するかしないかを設定します。

- する

給紙トレイに用紙がなくなったときは、用紙方向が異なる給紙トレイから給紙し、印刷を継続します。

- しない

給紙トレイに用紙がなくなったときは、印刷を中止し、本機の操作部に警告画面を表示します。給紙して印刷を継続するか、印刷を中止するかを選択できます。

工場出荷時の設定：**しない**

180度回転

用紙の向きに対し、画像の向きを 180 度回転して印刷するかしないかを設定します。

- する

- しない

工場出荷時の設定：**しない**

エミュレーション検知

プリンターに送られたデータを自動的に判断して、使用するエミュレーションを決定します。RP-GL/GL2、RTIFF、PS3、PDF が対象です。それ以外のエミュレーション

は、優先エミュレーション / プログラムで設定されているエミュレーションが対象です。

- する
- しない

工場出荷時の設定： **する**

[エミュレーション検知] を [する] に設定しても、エミュレーション切り替えコマンドを受信したときは、エミュレーション切り替えコマンドが優先されます。[する] のときの各エミュレーションの動作については、各エミュレーションの使用説明書を参照してください。

転送されたデータの種類によっては、正しいエミュレーションに切り替わらないことがあります。

連続してデータを送信するとき、[エミュレーション検知] が機能しないことがあります。そのときはデータを送信する間隔をあけてください。

圧縮データの解凍印刷

圧縮データの解凍印刷をするかしないかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定： **しない**

優先エミュレーション / プログラム

主電源スイッチを「On」にしたときに自動的に呼び出されるエミュレーションまたは登録されているプログラムを設定します。

- RPCS
- RPD
- RPGL
- RTIFF
- PS3
- PDF
- プログラム：01～16

工場出荷時の設定： **RPCS**

[プログラム：01] ～ [プログラム：16] に設定すると、その数字と同じ登録番号のプログラムが呼び出されてプリンターが起動します。プログラムは本機の操作部で設定した印刷条件を登録したものです。プログラム登録は MS-DOS または UNIX で印刷するときに使用します。

優先メモリー

優先的に使用するメモリー内容を設定します。印刷する用紙サイズ、解像度、エミュレーションなどによって選択します。

- ユーザーメモリー

外字やフォントなどのデータを登録するためにメモリーが優先的に使用されます。

- ページメモリー

印刷の高速化のためにフレームメモリーとして使用されます。

工場出荷時の設定：ページメモリー

印刷枚数

PS3 カードが装着されているときのメニュー項目です。印刷枚数を設定します。

プリンタードライバーで印刷部数を指定したときは、プリンタードライバーの設定が適用されます。

1～999（1 枚単位）の範囲で枚数をテンキーで入力します。

工場出荷時の設定：1 枚

トナーセーブ

トナーを節約するかしないかを設定します。「する」に設定すると薄く印刷されます。

- する
- しない

工場出荷時の設定：しない

予約印刷明け渡し時間設定

プリンターのページ作成が間に合わず印刷待ちとなったとき、コピー機能やスキャナー機能など、ほかの機能にいったん印刷権を明け渡すまでの時間を設定します。

- 長
- 中
- 短
- 明け渡ししない

工場出荷時の設定：短

補助用紙サイズ

A4 と Letter ($8\frac{1}{2} \times 11$) の切り替えをするかしないかを設定します。

- 自動
- 使用しない

工場出荷時の設定：使用しない

トレイ設定選択

本機に印刷データを送信したときに、プリンタードライバーやコマンドの設定を優先させるか、操作部の設定を優先させるかを指定できます。手差しトレイで設定可能です。この機能の設定については、P.43「プリンタードライバーやコマンドの設定で印刷する」を参照してください。

- 手差しトレイ

- ドライバー/コマンド優先

トレイを指定して印刷するとき、本体の〔用紙設定〕の設定にかかわらず、プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙サイズ、用紙種類、用紙方向を適用して印刷します。

手差しトレイで〔ドライバー/コマンド優先〕を選択したときは、本体の〔用紙設定〕で設定した用紙方向が適用されます。〔用紙設定〕で〔自動検知〕を選択するか、〔用紙設定〕で指定した用紙方向と手差しトレイの用紙セット方向を合わせてください。プリンタードライバーまたはコマンドで不定形サイズを指定したときは、プリンタードライバーまたはコマンドで指定した用紙方向が適用されます。

- 機器側設定優先

本機に設定されている用紙設定で印刷します。プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙設定と本機の用紙設定が一致しないときは、エラーになります。

工場出荷時の設定：**ドライバー/コマンド優先**

トレイ指定時動作切り替え

プリンタードライバーで指定した用紙サイズと用紙種類が、指定した給紙トレイにセットされている用紙の条件と一致しないときに、自動用紙選択をするかしないかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

拡張リミットレス給紙

自動用紙選択ではなく、給紙トレイ指定時でもリミットレス給紙をするように設定します。

- する

〔する〕を選択したときは、プリンタードライバーや印刷条件の「リミットレス給紙」の設定に関係なく、リミットレス給紙機能が有効になります。

- しない

工場出荷時の設定：**しない**

主電源 Off 時の未処理文書

本機の主電源スイッチを入れたときに、印刷指定時刻を過ぎた保留印刷文書を印刷するかしないかを設定します。

- 主電源 On で印刷する

本機の主電源スイッチを入れた場合に、印刷指定時刻を過ぎた保留印刷文書があるときは、自動ですべて印刷します。

- 主電源 On で印刷しない

本機の主電源スイッチを入れた場合に、印刷指定時刻を過ぎた保留印刷文書があるときは、印刷指定時刻が無効になり、[一時置き文書自動消去設定]の対象になります。

工場出荷時の設定：主電源 On で印刷しない

初期画面の切り替え

ホーム画面から [プリンター] を押したときに表示される画面を設定します。

- ジョブ一覧画面

ジョブの一覧を表示します。

- 文書印刷画面

本機に蓄積されている文書とユーザー ID の一覧を表示します。

工場出荷時の設定：ジョブ一覧画面

↓ 補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

システム設定 (EM)

[システム設定 (EM)] は、エミュレーションで RPD、RPGL、RTIFF を選択しているときに表示されます。

白紙排紙

RPD、RPGL を選択しているときに表示されます。

排紙コマンドを受信したときに印刷するデータがなく白紙の状態のときに、排紙するかしないかを設定します。

排紙コマンドを受信したときの動作と設定値との関係は、次のとおりです。

- する
白紙でも排紙します。
- スペース
排紙コマンドの前にスペースコード (20H、A0H、8140H) があるときは排紙します。それ以外のコードがあるときは排紙しません。
- しない
白紙を排紙しません。

工場出荷時の設定： **しない**

自動排紙時間

RPD、RPGL を選択しているときに表示されます。

一定時間、パソコンからデータが送信されてこないとき、プリンター内に残ったデータを強制的に印刷するかしないかを設定します。

たとえば、改ページコードがなく [強制排紙] を押さないと印刷できないようなデータが自動的に印刷されるように設定できます。自動的に印刷するときは、印刷を開始するまでの時間を設定します。

たとえば [10 秒] に設定すると、10 秒間データが送信されてこないときに、強制的に印刷します。設定時間が経過すると自動的に排紙されるので、同一ページ内のデータであっても、設定時間を超えて送信されてきたデータは、次のページに印刷されます。

- 自動排紙しない
- 10 秒、15 秒、20 秒、25 秒、60 秒、300 秒

工場出荷時の設定： **自動排紙しない**

マクロキャッシュ

マクロキャッシュの値は、RPD を選択しているときに有効になります。

フォームオーバーレイ印刷するためのフォームデータをキャッシュするために使用するメモリ容量を設定します。ここで設定した容量によって、キャッシュできるフォーム数が変わります。

- マクロなし
- マクロ 2.1MB
- マクロ 4.3MB
- マクロ 8.4MB

工場出荷時の設定：マクロなし

印刷データを展開するためのメモリーが確保できなくなるような設定はできません。
メモリーが十分でないとき、設定が無効になることがあります。

不定形サイズ設定：トレイ 1～2

トレイ 1～2 の不定型サイズを設定します。

印刷時の給紙方向に対し、垂直方向の長さを 210～914mm の範囲で、水平方向の長さを 210～15,000mm の範囲で、設定できます。

工場出荷時の設定：210×210mm

水平補正初期値

印刷時の給紙方向に対し、垂直方向の長さの補正値を 99.00～101.00% の間で設定できます。

ここで設定した値が RP-GL、RP-GL/2 の印刷条件「21.水平補正」の初期値になります。すでに登録したプログラムには反映されません。詳細については、『RP-GL/2&RTIFF』「21.水平補正」を参照してください。

工場出荷時の設定：100.00%

垂直補正初期値

印刷時の給紙方向に対し、水平方向の長さの補正値を 99.00～101.00% の間で設定できます。

ここで設定した値が RP-GL、RP-GL/2 の印刷条件「22.垂直補正」の初期値になります。すでに登録したプログラムには反映されません。詳細については、『RP-GL/2&RTIFF』「22.垂直補正」を参照してください。

工場出荷時の設定：100.00%

線幅補正量

線幅の補正量を-2～6 ドットの間で設定できます。

線幅が太すぎたり、細く掠れたりしたときにこの値を調整します。一部の場合*をのぞいた図面内のすべての線に適用されます。

工場出荷時の設定：0 dot(s)

* RP-GL、RP-GL/2 の印刷条件「30.文字描画」の設定が「ストローク」のときに文字描画を行うと、文字に対しては適用されません。

↓ 補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

PS 設定

[PS 設定] は、エミュレーションで PS3 を選択しているときに表示されます。PS3 カードが必要です。

ジョブタイムアウト

ジョブが中断したときに、現在のジョブを中止するまでの本機の待機時間を設定します（秒単位）。

- ドライバー/コマンド優先

プリンタードライバーまたはコマンドによるジョブタイムアウトの設定が、本機の操作部による設定より優先されます。

- 機器側設定優先

本機の操作部によるジョブタイムアウトの設定が、プリンタードライバーまたはコマンドによる設定より優先されます。

[機器側設定優先] を選択したときは、0～999 秒の範囲でテンキーで入力します。

工場出荷時の設定： **ドライバー/コマンド優先**

ウェイトタイムアウト

本機がジョブ終了を検知できないときに、ジョブ受信を中止するまでの本機の待機時間を設定します。

- ドライバー/コマンド優先

プリンタードライバーまたはコマンドによるウェイトタイムアウトの設定が、本機の操作部による設定より優先されます。

- 機器側設定優先

本機の操作部によるウェイトタイムアウトの設定が、プリンタードライバーまたはコマンドによる設定より優先されます。

[機器側設定優先] を選択したときは、0～999 秒の範囲でテンキーで入力します。

工場出荷時の設定： **ドライバー/コマンド優先**

用紙選択方式

PostScript の DeferredMediaSelection の初期値を指定し、給紙トレイ選択方法を設定します。

- 自動選択

DeferredMediaSelection の初期値を true にします。ジョブで指定した用紙設定と一致する給紙トレイが選択されます。

- 給紙トレイから選択

DeferredMediaSelection の初期値を false にします。PostScript Language Reference の媒体選択にしたがって給紙トレイが選択されます。

工場出荷時の設定：**給紙トレイから選択**

白紙排紙

排紙コマンドを受信したときに印刷するデータがなく白紙の状態のときに、排紙するかしないかを設定します。

排紙コマンドを受信したときの動作と設定値との関係は、次のとおりです。

- する
白紙でも排紙します。
- しない
白紙を排紙しません。

工場出荷時の設定：**する**

データ形式

データ形式を設定します。

- バイナリーデータ
- TBCP

工場出荷時の設定：**バイナリーデータ**

この設定は、パラレル、AppleTalk 接続以外のときに有効です。

パラレル接続で、プリンタードライバーからバイナリーデータを送ると印刷ジョブがキャンセルされます。

イーサネット接続で以下の条件のときに、印刷ジョブがキャンセルされます。

- バイナリーデータを設定時に、プリンタードライバーから送られてきたデータの形式が TBCP のとき
- TBCP を設定時に、プリンタードライバーから送られてきたデータの形式がバイナリーデータのとき

解像度

解像度を設定します。

- 300dpi
- 600dpi

工場出荷時の設定：**600dpi**

最大領域印刷

用紙サイズ最大可能領域に印刷するかどうかを設定します。[する] に設定すると、用紙の裏面や縁の部分が汚れることがあります。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

印刷方向自動検知

印刷データの向きを自動検知するかしないかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**する**

用紙サイズ不一致時代替サイズ印刷継続

印刷時に指定した用紙サイズに一致した給紙トレイが無いときに、代替サイズを自動選択して印刷継続するかしないかを設定します。

設定が「有効」のときの給紙方向、画像位置をそれぞれ設定します。

- 代替サイズ自動選択印刷設定
 - 有効
 - 無効

工場出荷時の設定：**有効**

- 給紙方向
 - 自動（余白最小方向）
 - タテ方向優先
 - ヨコ方向優先

工場出荷時の設定：**自動（余白最小方向）**

- 画像位置
 - 左寄せ
 - 中央
 - 右寄せ

工場出荷時の設定：**左寄せ**

↓ 補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

PDF 設定

[PDF 設定] は、エミュレーションで PDF を選択しているときに表示されます。

PDF パスワード変更

印刷する PDF ファイルに設定されたパスワードを本機に設定したり、変更したりします。

PDF グループパスワード

この機能は本機では使用できません。

白紙排紙

排紙コマンドを受信したときに印刷するデータがなく白紙の状態のときに、排紙するかしないかを設定します。

排紙コマンドを受信したときの動作と設定値との関係は、次のとおりです。

- する
白紙でも排紙します。
- しない
白紙を排紙しません。

工場出荷時の設定： **する**

最終ページから印刷

最終ページから印刷するかどうかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定： **しない**

解像度

解像度を設定します。

- 300dpi
- 600dpi

工場出荷時の設定： **600dpi**

最大領域印刷

用紙サイズ最大可能領域に印刷するかどうかを設定します。[する] に設定すると、用紙の裏面や縁の部分が汚れることがあります。

- する
- しない

工場出荷時の設定： **しない**

印刷方向自動検知

印刷データの向きを自動検知するかしないかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**する**

用紙サイズ不一致時代替サイズ印刷継続

印刷時に指定した用紙サイズに一致した給紙トレイが無いときに、代替サイズを自動選択して印刷継続するかしないかを設定します。

設定が「有効」のときの給紙方向、画像位置をそれぞれ設定します。

- 代替サイズ自動選択印刷設定
 - 有効
 - 無効

工場出荷時の設定：**有効**

- 給紙方向
 - 自動（余白最小方向）
 - タテ方向優先
 - ヨコ方向優先

工場出荷時の設定：**自動（余白最小方向）**

- 画像位置
 - 左寄せ
 - 中央
 - 右寄せ

工場出荷時の設定：**左寄せ**

↓ 補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

インターフェース設定

受信バッファ

受信バッファのメモリーサイズを設定します。通常は変更する必要はありません。

- 128KB
- 256KB

工場出荷時の設定：128KB

インターフェース切替時間

パラレルインターフェース、または USB2.0 インターフェースで、データの送信が終了してから、そのインターフェースを有効にしておく時間を設定します。ここで設定した時間を超えると、ほかのインターフェースからデータの受信ができます。

- 10 秒
- 15 秒
- 20 秒
- 25 秒
- 60 秒

工場出荷時の設定：15 秒

設定時間が短すぎると、データの送信中にタイムアウトすることがあります。その結果、ほかのインターフェースからのデータが割り込んで印刷されたり、データの途中からエミュレーション検知が働いて、ほかのエミュレーションに切り替わったりします。

↓ 補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

印字設定

On/Off 設定

[機密管理ナンバリング]、[スタンプ印字]、[ユーザースタンプ印字]、[日付印字]のスタンプ印字をするか、それぞれ設定します。

- O N
- O F F

工場出荷時の設定：すべて **O F F**

機密管理ナンバリング

機密文書にナンバーの地紋を付けて印刷します。印字を開始する番号を 1～999 の範囲で指定できます。

工場出荷時の設定：1

スタンプ印字

あらかじめ登録されているスタンプを印字します。印字するスタンプの種類、位置、ページを設定します。

- 印字種類
 - マル秘
 - 回収
 - 複製厳禁
 - 至急
 - マル仮
 - 回覧
 - CONFIDENTIAL
 - DRAFT

工場出荷時の設定：**マル秘**

- 印字位置
 - 左上
 - 中央上
 - 右上
 - 中央左
 - 中央
 - 中央右
 - 左下
 - 中央下

- 右下

工場出荷時の設定：**左上**

- 印字ページ
 - 全ページ
 - 先頭ページのみ

工場出荷時の設定：**全ページ**

ユーザースタンプ印字

よく使用する文字やマークを登録しておき、スタンプのように印字します。ユーザースタンプは40種類まで登録でき、印字するユーザースタンプの種類、位置、ページを設定します。

- 印字種類

スタンプ1～スタンプ40に登録されたスタンプを選択します。

工場出荷時の設定：**スタンプ1**

- 印字位置
 - 左上
 - 中央上
 - 右上
 - 中央左
 - 中央
 - 中央右
 - 左下
 - 中央下
 - 右下

工場出荷時の設定：**左上**

- 印字ページ
 - 全ページ
 - 先頭ページのみ

工場出荷時の設定：**全ページ**

↓ 補足

- ユーザースタンプの登録が必要です。ユーザースタンプの登録については、『コピー/ドキュメントボックス』『ユーザースタンプ印字』を参照してください。

日付印字

印字する日付の印字書式、位置、ページを設定します。時計設定で設定されている日時が印字されます。

- 印字書式

- YYYY.MM.DD
- YYYY 年 MM 月 DD 日
- DD.JUN.YYYY
- MM/DD/YYYY
- MM.DD.YYYY
- DD/MM/YYYY
- DD.MM.YYYY

工場出荷時の設定：YYYY.MM.DD

- 印字位置

- 左上
- 中央上
- 右上
- 左下
- 中央下
- 右下

工場出荷時の設定：左上

- 印字ページ

- 全ページ
- 先頭ページのみ

工場出荷時の設定：全ページ

↓ 補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

MEMO

MEMO

